

物 件 調 書

【 土 地 】						
所在及び地番	賀茂郡松崎町江奈字前田255番3					
住居表示						
面積	1,974.12㎡(実測面積) ----- 1,974.12㎡(登記簿面積)	地目	宅地(登記簿) ----- 宅地(現況)	土地の形状	長方形地	
接面道路の幅員、種別、状況等	・南東側約56mが幅員約4mの舗装町道に接面					
私道の負担等に関する事項	—					
法令に基づく制限の概要	都市計画区域	都市計画区域外	用途地域	—		
	建蔽率	指定建蔽率	—	基準建蔽率	—	
	容積率	指定容積率	—	基準容積率	—	
	高さの制限	道路斜線制限	無・有	隣地斜線制限	無・有	
		北側斜線制限	無・有	絶対高さ制限	無・有	
		日影による中高層の建築物の制限		無・有		
	外壁後退	無・有		壁面線の制限	無・有	
	準防火地域	無・有		防火地域	無・有	
	その他	建築基準法第6条第1項第4号指定区域、建築基準法第22条区域、景観法				
※ 各制限内容の詳細は、関係市町村の建築確認担当課にお問い合わせください。						
供給処理施設の状況			事業所名	電話番号		
	電気	引込不可・引込可	東京電力パワーグリッド株式会社	0120-995-007		
	上水道	引込不可・引込可	松崎町生活環境課	0558-42-3969		
	下水道	引込不可・引込可	—	—		
	都市ガス	引込不可・引込可	—	—		
※ 引込み費用等の詳細は、上記事業所にお問い合わせください。						
交通機関 (直線距離)	バス	東海バス「松崎小学校」停留所:物件の西方約100m				
	鉄道	伊豆急行線「稲梓」駅:物件の東方約16km				
公共施設 (直線距離)	役場	松崎町役場 :物件の南西方約400m				
	小学校	松崎町立松崎小学校 :物件の南西方約250m				
	中学校	松崎町立松崎中学校 :物件の東方約200m				

【 建 物 】		
所 在	賀茂郡松崎町江奈字前田255番地3（登記上の所在地）	
建物の状況 (主である建物)	家屋番号	255番3
	構造・用途	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 保健所庁舎
	延床面積	786.65㎡(登記簿面積)
	建築時期	昭和55年3月15日建築
	設計等	保健所庁舎として設計
建物の状況 (付属建物)	家屋番号	符号1
	構造・用途	鉄骨造スレート葺平家建 車庫 電気室 犬抑留舎
	延床面積	114.30㎡(登記簿面積)
	建築時期	昭和55年3月15日建築
	設計等	車庫、電気室、犬抑留舎として設計
建物の状況 (付属建物)	家屋番号	符号2
	構造・用途	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建 機械室
	延床面積	9.00㎡(登記簿面積)
	建築時期	昭和55年3月15日建築
	設計等	機械室として設計
外構工事等	門、囲障、浄化槽、舗床、受水槽、プロパン置場ほか	
◎参考事項(物件の状況、法令上の制限等に関する特記事項)		
<ul style="list-style-type: none"> ・本件建物の設備等については、経年変化及び使用に伴う性能低下、損傷、使用不能等があります。 ・本件建物内の物品類は現況での引渡しとなります。 ・本件地の埋設物調査は実施していません。 ・本件建物についてアスベスト調査を令和4年度に実施しており、保健所庁舎の階段上裏及び機械室からアスベストが、車庫等のシャッターから鉛が検出されていますが、現況のまま引き渡します。除去及び費用負担等について、県は対応しません。 ・本件地は想定深3.0m～5.0mの津波災害警戒区域及び想定深1.0m～3.0mの洪水浸水想定区域に指定されています。 ・本件地の上水道本管は、東側に位置する南北の道路上に存在し、本物件南側道路に引込み管を埋設してあります。 		

・上水道と同じ位置に温泉管が埋設しており、本物件にて温泉の利用が可能です。ただし、温泉を利用する場合には、加入金が発生し、加入金と使用料金に関しては自家用と営業用の種別により費用の差が生じます。温泉詳細については、松崎町役場生活環境課(0558-42-3969)にお問合せください。

・本件地の土壌汚染状況調査(試料採取調査)を令和4年度に実施していますが、すべての採取地点において基準を超過した箇所はありませんでした。

・保健所庁舎について、平成7年度に耐震診断を行っています。社団法人静岡県建築士事務所協会の耐震判定書によると、「耐震性能は非常によいが、大地震に対して部分的に軽微な被害もありうる。(極ぜい性部材が破壊する可能性がある。)」という耐震判定がされています。

・隣地の樹木等が敷地内に越境している可能性があります。

・本物件の浄化槽設備排水管は、南側に接する町道の地中より西側河川の方向へ埋設されていると思われませんが、位置確定の詳細な図面等が存在せず、松崎町役場にも道路占用に関する申請記録が存在しません。現在、埋設排水管に対する道路占用の費用等は発生していませんが、今後、松崎町役場の方針変更によっては、道路占用許可申請の必要や道路占用の費用が発生する可能性があります。詳細については、松崎町役場産業建設課(TEL:0558-42-3965)へお問合せください。

・本件地の一部上空を電線が通過しています。

・本件地の実測面積は、令和3年の国土調査によるもので、静岡県は測量を実施していません。

※物件調書は、入札参加者が物件の概要を把握するための資料にすぎません。

必ず入札参加者ご自身において、現地及び諸規制についての現地確認を行ってください。

品質に係る注意事項

- (1) 物件の引渡しは、物件調書に特段の記載のない限り、現状のままで行います。
- (2) 埋設物調査は実施していませんので、地中埋設物が存在している可能性があります。
- (3) 物件によっては、上下水道設備、ガス設備が敷設されていますが、経年劣化による影響等については確認していません。これらの設備の品質は保証できません。
- (4) 物件及び隣接地の擁壁・直壁・ブロック塀等について、地上及び地中にて境界を越えている場合があります
- (5) 物件の敷地内(地中を含む)にゴミ(家電等を含む)・ガラ・碎石・切り株・雑草等が存在する場合があります。
- (6) 物件調書に特段の記載のない限り、土壌汚染及び地盤に関する調査は行っていません。

その他の注意事項（契約不適合責任の免責等）

- (1) 建物の建築図面等がある場合は賀茂健康福祉センター総務課において閲覧できます。
- (2) 物件の引渡しは、物件調書に特段の記載のない限り、現状のままで行いますので、物件調書をご参照のうえ、必ず事前に現地の確認をしてください。
なお、物件調書と現状が異なる場合には現状を優先します。
- (3) 建物を解体撤去する場合の費用負担については、県は対応しません。また、解体撤去する場合は、騒音等の周辺の環境に配慮してください。
- (4) 敷地の形質変更を行う際は、形質変更に伴う粉塵防止対策として、散水等に努めてください。
- (5) 土地の形質変更をする場合の費用負担については、県は対応しません。また、土地の形質変更をする場合は、騒音・粉塵防止対策等の周辺の環境に配慮してください。
- (6) 現在の建物を解体撤去後、新たな建物を建築するにあたっては、建築基準法、文化財保護法及び県、市町の条例のほか協定等により、指導がなされる場合や開発負担金等が必要となる場合がありますので、関係機関にご確認ください。
- (7) 物件によっては、敷地内にフェンス、塀、柵等が設置されていますが、これらの工作物の補修・改修・撤去・再築造及びその費用負担については、県は対応しません。
- (8) 埋設物調査は実施していませんので、地中埋設物が存在している可能性があります。地中埋設物が発見されたとしても、これらの撤去及びその費用負担については、県は対応しません。
- (9) 物件によっては、埋蔵文化財包蔵地に該当するため、開発方法によっては試掘調査が必要となる場合があります。（詳しくは物件所在市町村の教育委員会にお問合わせください。）
- (10) 物件によっては、上下水道設備、ガス設備が敷設されていますが、経年劣化による影響等については確認していません。これらの敷設設備の補修・移設・改修・撤去・再築造及びその費用負担等については、県は対応しません。
- (11) 物件及び隣接地の擁壁・直壁・ブロック塀等について、地上及び地中にて境界を越えている場合がありますが、現状引渡しとなりますので、移設・撤去・再築造及びその費用負担等については、県は対応しません。
- (12) 物件の敷地内及び敷地上空又は隣接地等に電柱(電信柱・電柱付属物・電線等を含む)・支線・ゴミ置き場・道路設置物(ガードレール等)・道路標識(カーブミラー等を含む)等がある場合の移設・撤去等の可否等の取扱いについては、設置者又は管理者等にお問い合わせください。県ではこれらについて対応しません。
- (13) 物件の敷地内(地中を含む)にゴミ(家電等を含む)・ガラ・碎石・切り株等が存在する場合はあ

ります（品質）が、撤去及びその費用負担等については、県は対応しません。

(14) 現状での引渡しのため、現地の除草・伐採及びその費用負担等については、県は対応しません。

(15) 建物のアスベストについては、他に記載のある場合を除き、専門業者による調査は実施していません。調査の費用負担とアスベストが発見された場合の除去及びその費用負担等については、県は対応しません。

案内図



表題部 (土地の表示)		調製	平成14年12月11日	不動産番号	0803000039019
地図番号	W 24-4 W 34-2	筆界特定	[余白]		
所在	賀茂郡松崎町江奈字前田				[余白]
①地番	②地目	③地積 m ²		原因及びその日付〔登記の日付〕	
255番3	田	512		[余白]	
[余白]	[余白]	496		昭和54年3月22日一部地目変更 ③255番3、255番7に分筆 〔昭和54年4月10日〕	
[余白]	宅地	496 49		②③昭和54年5月30日地目変更 〔昭和54年7月30日〕	
[余白]	[余白]	1982 96		③255番4、256番1、256番2を合筆 〔昭和54年7月31日〕	
[余白]	[余白]	[余白]	昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項の規定により移記 平成14年12月11日		
[余白]	[余白]	1974 12		③錯誤 国土調査による成果 〔令和3年9月29日〕	

権利部 (甲区) (所有権に関する事項)			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	合併による所有権登記	昭和54年7月30日 第3140号	所有者 静岡県 順位1番の登記を移記
	[余白]	[余白]	昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項の規定により移記 平成14年12月11日



これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

(静岡地方法務局下田支局管轄)

令和6年12月23日

静岡地方法務局

登記官

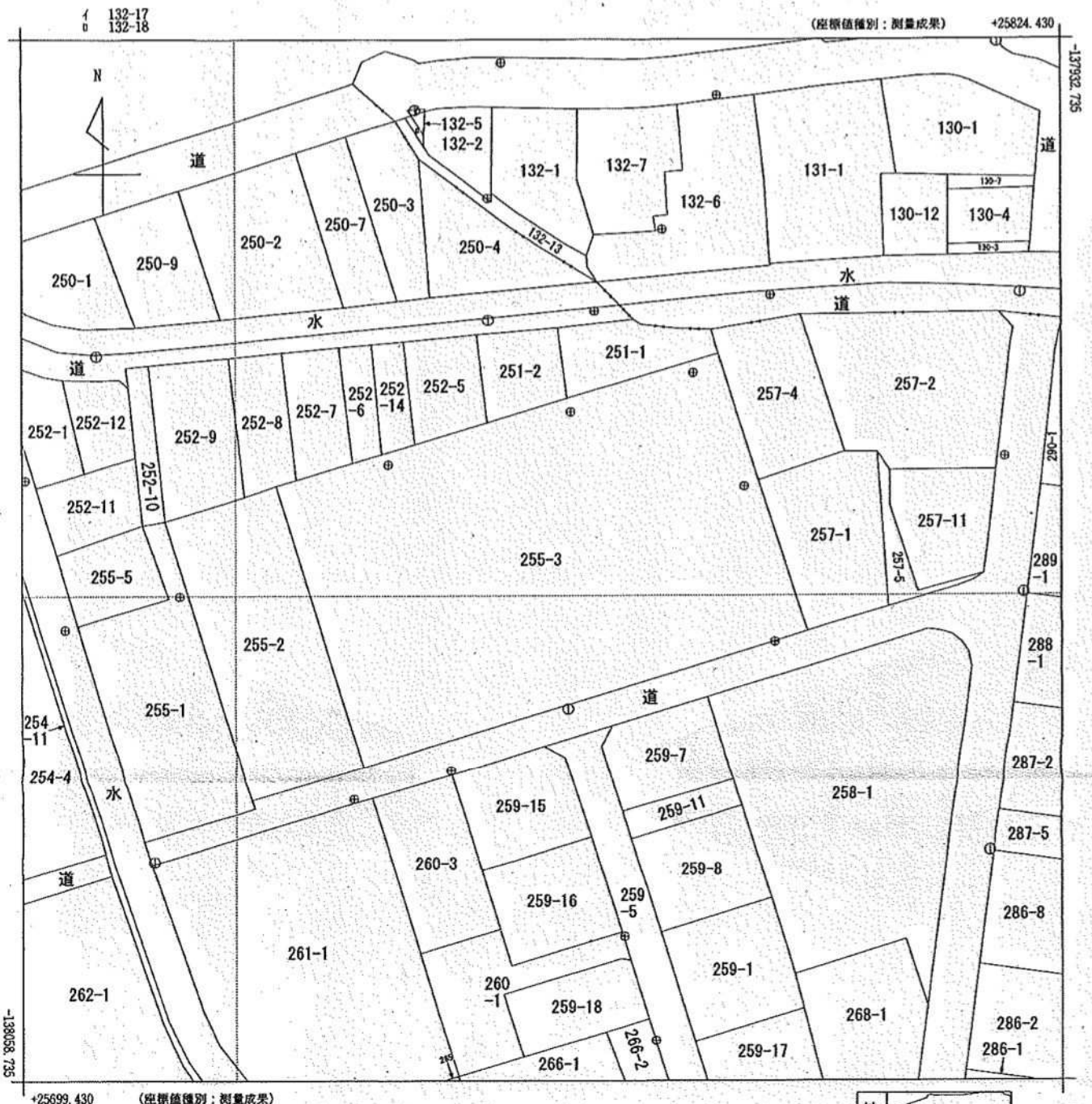
中村元昭

* 「登記の目的」欄に「相続人申告」と記載されている登記は、所有権の登記名義人(所有者)の相続人からの申出に基づき、登記官が職権で、申出があった相続人の住所・氏名等を付記したものであり、権利関係を公示するものではない。

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

整理番号 K19672 (1/2)





請求部	所在	賀茂郡松崎町江奈字前田			地番	255番3	
出力縮尺	1/500	精度区分	甲三	座標系番号又は記号	Ⅵ	分類	地図(法第14条第1項)
作成年月日				備付年月日(原図)	令和3年9月29日		補記事項

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。
 (静岡地方法務局下田支局管轄)

令和6年12月23日
 静岡地方法務局

請求番号: 4-1
 (1/1)

登記官

中村元昭



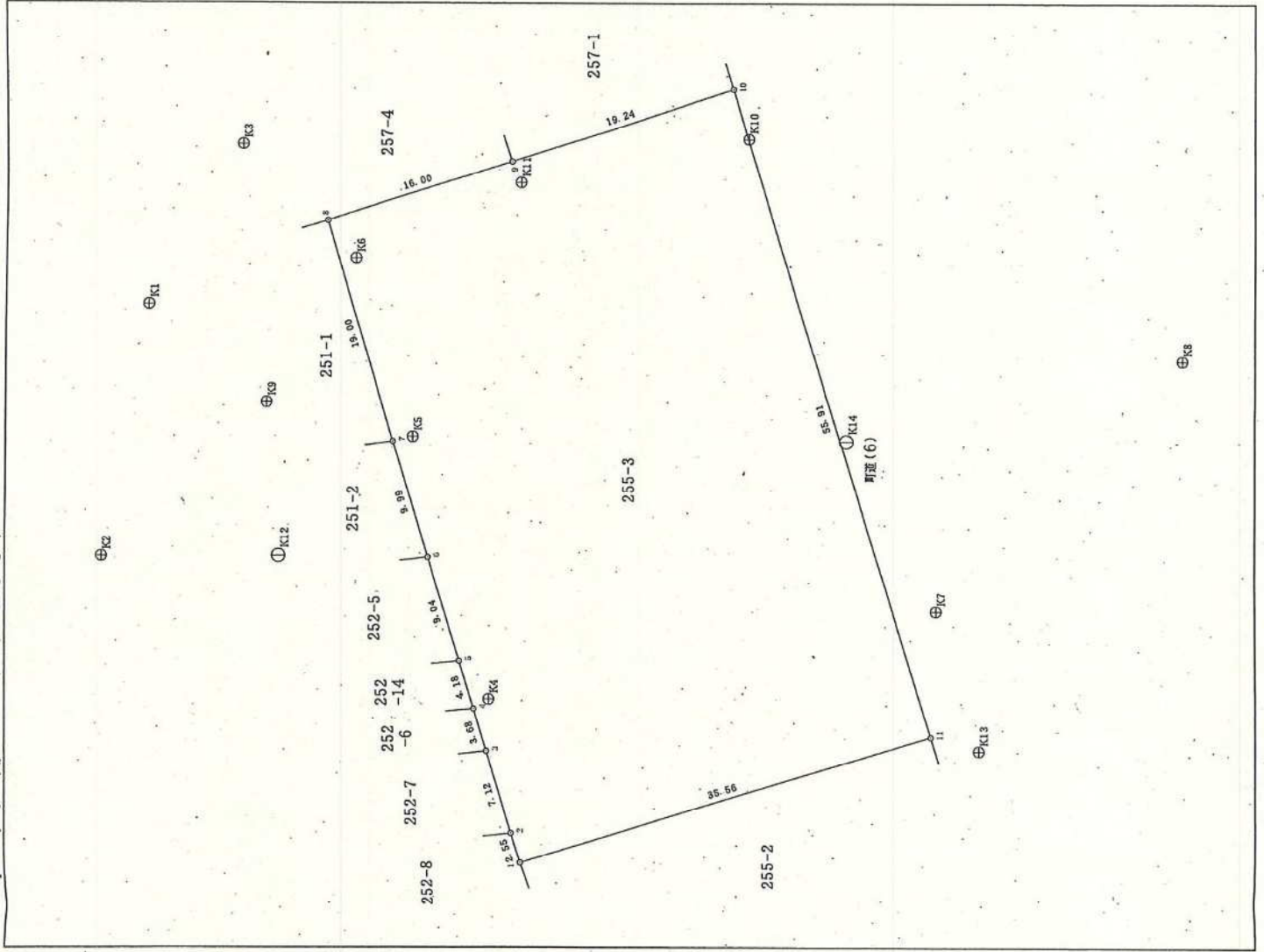
A3→A4に縮小

公用

一筆図形 (1/450)

大字	110	江奈		
小字	8	前田		
地番	255-3	計算面積 (㎡)	1974.126	台帳面積 (㎡)
所有者	オオクラシヨウ 大蔵省		住所	
点番	境界点番号	X座標(m)	Y座標(m)	方向角
1	19-913C	-137,986.707	25,729.964	72°54'56"
2	19-914P	-137,985.958	25,732.401	73°15'30"
3	19-918C	-137,983.908	25,739.216	73°16'48"
4	19-920P	-137,982.850	25,742.738	73°23'57"
5	19-922C	-137,981.656	25,746.743	73°15'56"
6	19-924RM	-137,979.054	25,755.397	73°04'20"
7	19-926P	-137,976.145	25,764.955	73°34'33"
8	19-931C	-137,970.773	25,783.179	162°28'15"
9	19-945RM	-137,986.033	25,787.999	162°09'06"
10	19-886RM	-138,004.347	25,793.896	252°59'49"
11	19-887RM	-138,020.697	25,740.428	342°53'19"
				構材区分
				コンクリート
				プラスチック大
				コンクリート
				プラスチック大
				コンクリート
				金網
				プラスチック大
				プラスチック大
				金網
				金網
				金網

点番	基準点	X座標(m)	Y座標(m)	標高(m)
K1	W0W00-F166-1A	-137,955.786	25,776.371	
K2	W0W00-F168-1	-137,951.988	25,755.508	
K3	W0W00-F170-1	-137,963.721	25,789.462	
K4	W0W00-F172-2	-137,984.090	25,743.540	
K5	W0W00-F172-3	-137,977.788	25,765.354	
K6	W0W00-F172-4	-137,973.100	25,780.992	
K7	W0W00-F174-1	-138,021.092	25,750.942	
K8	W0W00-F177-1	-138,041.429	25,771.635	
K9	W0O9126	-137,965.634	25,768.217	
K10	W0O9126	-138,005.622	25,789.906	
K11	W0O9126A	-137,986.771	25,786.271	
K12	WW-142-2	-137,966.689	25,755.549	2.439
K13	WW-153-1A	-138,024.671	25,739.262	
K14	Wx32	-138,013.690	25,764.987	2.491



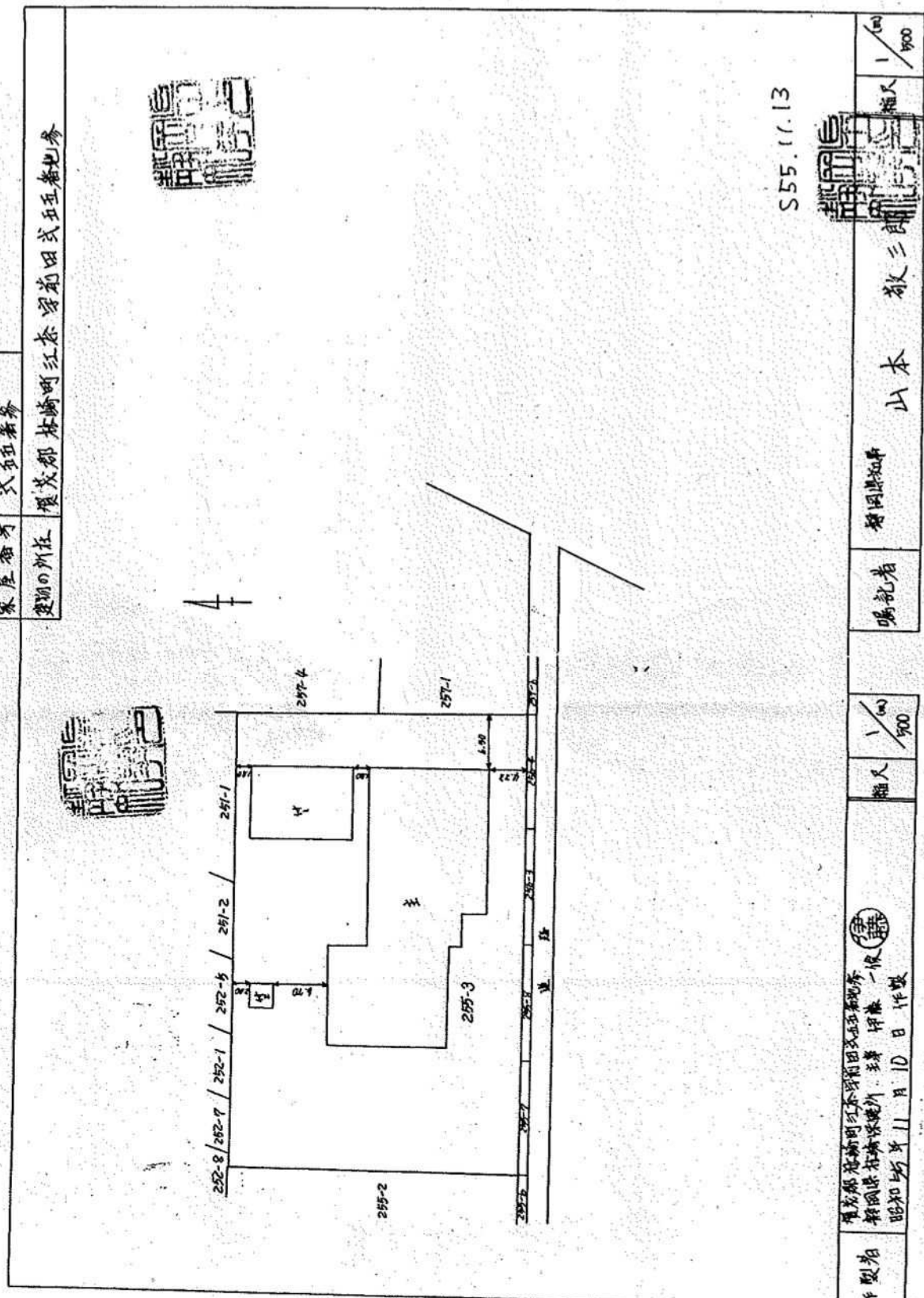
実際の縮尺とは異なります

登記年月日：昭和55年11月13日

52323

○ 建物図面

家屋番号	式五五番
建物の所在	千葉県林崎町紅奈字菊田式五五番地



S55.11.13

製者	有形振花崎町紅奈字菊田式五五番地 新岡保右衛門・至善 甲藤 一俊
縮尺	1/500
嘱託者	智田忠知事
縮尺	1/500
署名者	山本 敬三郎

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。
 (静岡地方支務局下田支局管轄)
 令和6年12月23日 静岡地方支務局

登記官

中村元昭

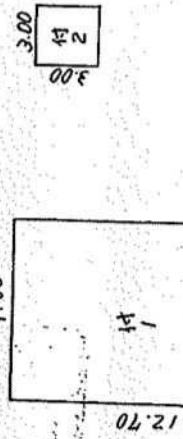


A3→A4に縮小

登記年月日：昭和55年11月13日

52324

家屋番号 式五五番参 各階平面図
 建物の所在 賀茂郡松崎町江奈字前田式五五番地参



S55.11.13

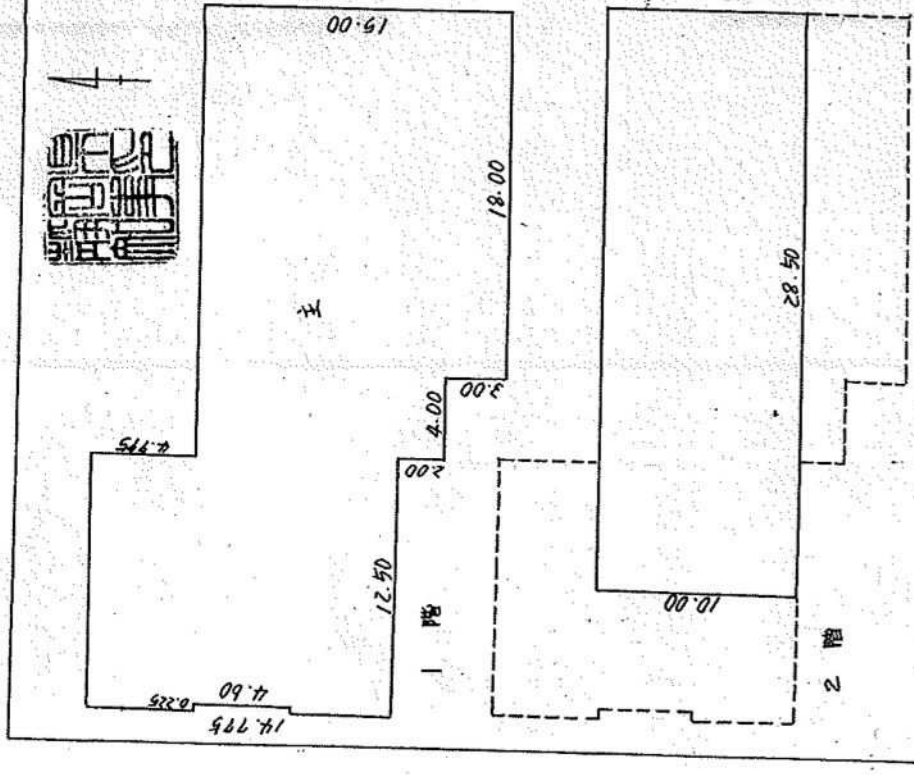
1階	15.00 x 18.00	M ²	270.00
	14.775 x 12.50		184.6875
	12.00 x 4.00		48.00
	4.60 x 0.225		- 1.03
	計		501.65

2階	10.00 x 28.50	M ²	285.00
	計		285.00

H1	12.70 x 9.00	M ²	114.30
	計		114.30

H2	3.00 x 3.00	M ²	9.00
	計		9.00

嘱託者 静岡県知事 山本 敬三郎
 縮尺 1/250



作成者 賀茂郡松崎町江奈字前田式五五番地参 主事 伊藤 一徳
 静岡県松崎保健所 昭和55年11月10日作製
 縮尺 1/250

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。
 (静岡地方支務局下田支局管轄)
 令和6年12月23日 静岡地方支務局

登記官

中村元昭



A3→A4に縮小

静岡県賀茂健康福祉センター松崎支援室アスベスト調査 調査結果一覧表

採取日: 令和4年9月5日

含有なし: -

試料番号	仕様番号	棟名称	採取箇所	部位	採取対象材	分析項目	分析結果
①	A-1	庁舎	機械室	内壁	吹付	アスベスト	-
②	A-2	庁舎	機械室	天井	A-1同材料		
③	A-3	庁舎	階段上裏	内部	塗装材	アスベスト	クリンタイル 0.2%
④	A-4	庁舎	OA取入口、煙突	外壁	塗装材	アスベスト	-
⑤	A-5	庁舎	階段段裏	外部	ヒル石吹付	アスベスト	-
⑥	B-1	車庫等	シャッター	SS1-SS2	OP塗	鉛	600 mg/kg 未満
⑦	B-2	車庫等	外壁		塗装材	アスベスト	-
⑧	C-1	機械室	浄化槽室	外部	塗装材	アスベスト	-
⑨		車庫等	シャッター	屋根	OP塗	鉛	13000 mg/kg
⑩		車庫等	シャッター		OP塗	鉛	970 mg/kg
⑪		庁舎	階段上裏	外部	塗装材	アスベスト	-
⑫		庁舎(その他)	境界外壁	外部	塗装材	アスベスト	-
⑬		庁舎	事務室	内壁	塗装・下地材	アスベスト	-
⑭		庁舎	休憩室	内壁	塗装・下地材	アスベスト	-
⑮		庁舎	機械室	配管エルボ	耐火材	アスベスト	トモナイト/アクチライト 11.8%

アスベスト含有: 0.1%以上が含有あり、0.1%未満が含有なし(厚生労働省 労働安全衛生法施行令)
鉛: 検出されないこと: 600mg/kg未満(厚生労働省令 鉛中毒予防規則):

令和4年度

静岡県賀茂健康福祉センター松崎保健支援室
土壌汚染状況調査（試料採取調査）業務委託

報告書

令和5年3月

株式会社エコアップ

目次

1. 業務概要	1
2. 土壤汚染状況調査結果及び考察	4

添付資料

- 1 試料採取地点の平面図及び各地点の採取深度
- 2 土壤ガス採取記録
- 3 土壤ガス回収率確認表
- 4 分析結果一覧表
- 5 計量証明書
- 6 計量証明事業者登録証の写し及び土壤汚染指定調査機関であることを証する書類
- 7 記録写真（位置出し、試料採取、修復確認、室内試験）

1. 業務概要

(1)業務名 令和4年度静岡県賀茂健康福祉センター松崎保健支援室
 土壤汚染状況調査（試料採取調査）業務委託

(2)業務の目的 本業務は、令和4年度に自主調査として実施した土壤汚染対策法第4条
 第1項に準じた土壤汚染状況調査（地歴調査）の結果から、「土壤汚染の
 存在するおそれが少ないと認められる土地」、「土壤汚染のおそれが多いと
 認められる土地」の対象となった特定有害物質について試料採取調査を実施し、基準に照らして判定する。

(3)調査位置 静岡県賀茂健康福祉センター 賀茂保健所 松崎保健支援室
 静岡県賀茂郡松崎町江奈字前田 255 番 3（地番）

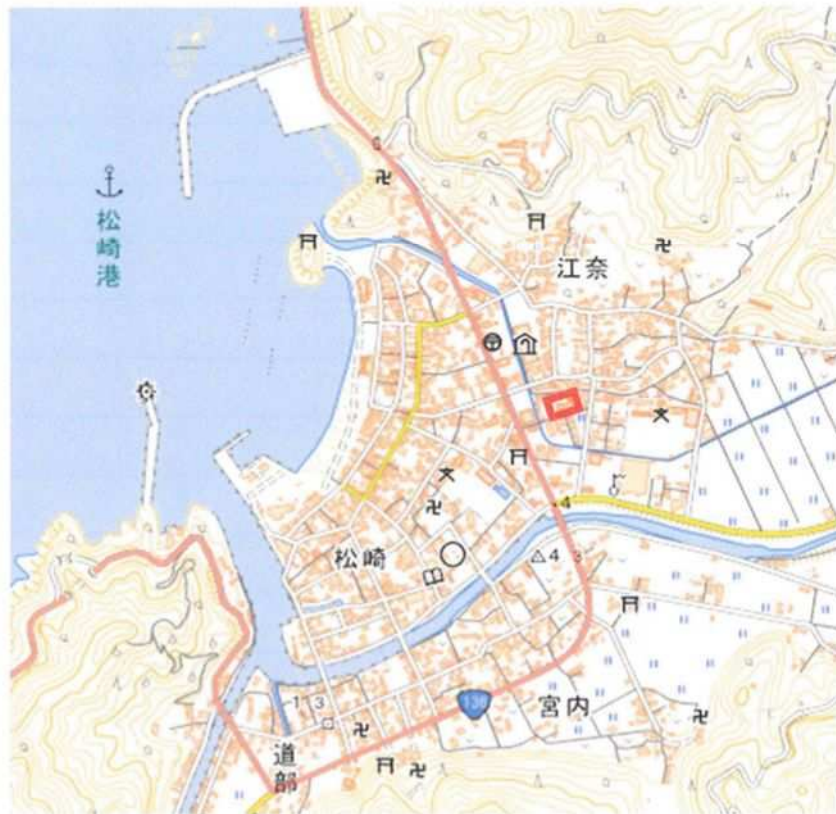


図-1 調査対象位置図（□：調査対象地）

(4)工期 着手 令和4年12月21日
 完了 令和5年3月15日

(5) 業務内容

① 試料採取

添付資料 1「調査地点位置図（地表面・埋設配管・浄化槽下）」に示す地点において分析試料の採取を行った。

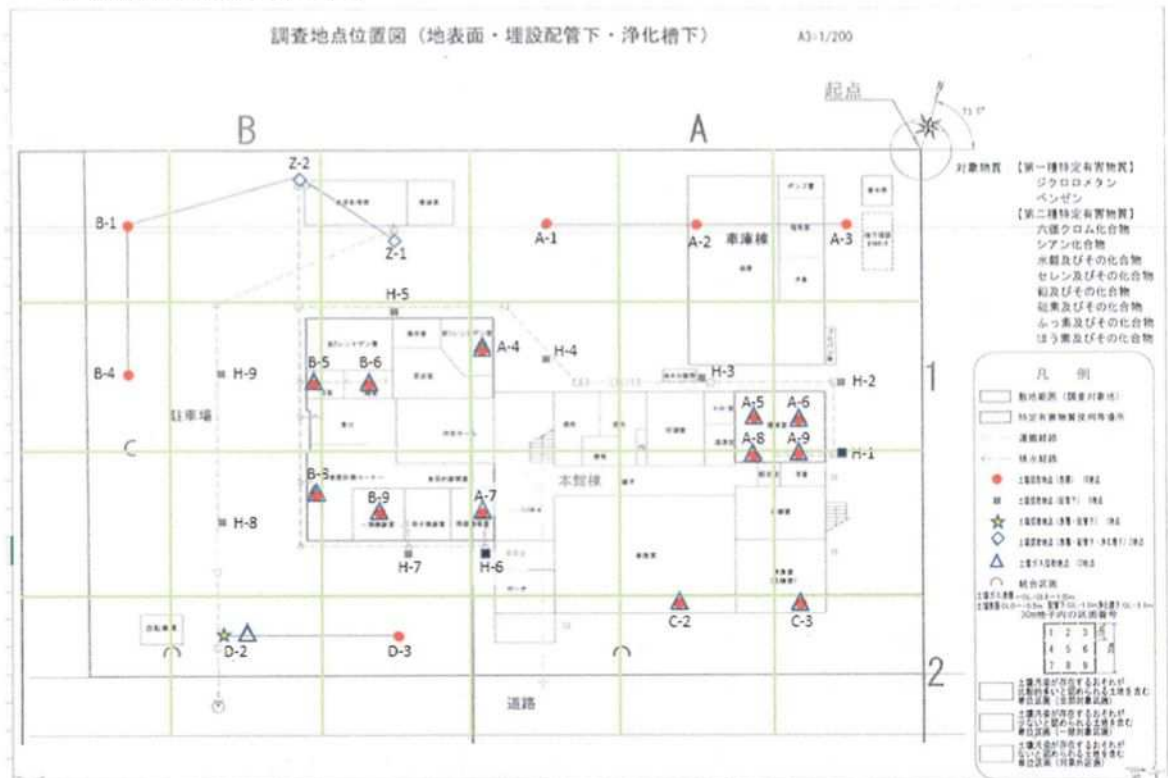


図-2 調査地点位置図（地表面・埋設配管・浄化槽下）

② 採取時の状況

試料採取時の状況を表-1「各地点の採取深さ」及び添付資料 2「土壌ガス調査試料採取時記録」に示す。また採取状況を写真 1-1~3-19 に示す。

採取方法は、土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第 3 版）Appendix-5.土壌ガス調査に係る採取及び測定の方法及び Appendix-8. 第二種特定有害物質及び第三種特定有害物質に係る土壌試料採取方法による。

試料採取時にアスファルト及びコンクリートに削孔を開けたため、簡易修復を行った。写真 4-1~4-30 に示す。

表-1 各地点の採取深さ

	採取箇所	検尺	地表
建物外	A-1表層	54cm	アスファルト (4cm)
	A-2表層	67cm	コンクリート (17cm)
	A-3表層	53cm	アスファルト (3cm)
建物内	A-4表層	88cm	コンクリート (38cm)
	A-5表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-6表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-7表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-8表層	84cm	コンクリート (34cm)
建物外	A-9表層	83cm	コンクリート (33cm)
	Z-1表層	—	アスファルト (4cm)
	Z-1配管下	—	配管深さ (90cm)
	Z-1浄化槽下	4m	アスファルト、土壌 (3.5m)
	Z-2表層	—	アスファルト (4cm)
	Z-2配管下	—	配管深さ (90cm)
	Z-2浄化槽下	4m	アスファルト、土壌 (3.5m)
建物内	B-1表層	54cm	アスファルト (4cm)
	B-4表層	54cm	アスファルト (4cm)
	B-5表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-6表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-8表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-9表層	87cm	コンクリート (37cm)
建物外	C-2表層	85cm	コンクリート (35cm)
	C-3表層	86cm	コンクリート (36cm)
	D-2表層	100cm	土壌ガスのみ
	D-2配管下	140cm	配管深さ (90cm)
	D-3表層	54cm	アスファルト (4cm)
	H-1配管下	113cm	配管深さ (63cm)
	H-2配管下	95cm	配管深さ (45cm)
	H-3配管下	110cm	配管深さ (60cm)
	H-4配管下	123cm	配管深さ (73cm)
	H-5配管下	137cm	配管深さ (87cm)
	H-6配管下	142cm	配管深さ (92cm)
H-7配管下	144cm	配管深さ (94cm)	
H-8配管下	140cm	配管深さ (90cm)	
H-9配管下	115cm	配管深さ (65cm)	

③分析試験

試料を試験室に持ち帰って行った。土壌ガスは採取後 24 時間以内に分析試験を行った。採取土壌は風乾後、2 mm 篩を通過したものについて、混合するものは等量混合を行い、溶出液作成、含有液作成を行った。

土壌ガス試験については、土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第 3 版）Appendix-5.土壌ガス調査に係る採取及び測定の方法、土壌試料については Appendix-9.土壌溶出量調査に係る測定方法、Appendix-10.土壌含有調査に係る測定方法による。

土壌ガス調査の精度管理のため、添付資料 3「土壌ガス調査の運搬及び保管による濃度の減少の程度を評価した表」を示す。

2. 土壌汚染状況調査結果及び考察

土壌汚染状況調査（表層部試料採取）の結果、すべての採取地点において基準を超過した箇所は無かった。ふっ素及びその化合物の溶出量検査において、検出された箇所があったが、海に近い土地であることから、自然由来によると考えられる。

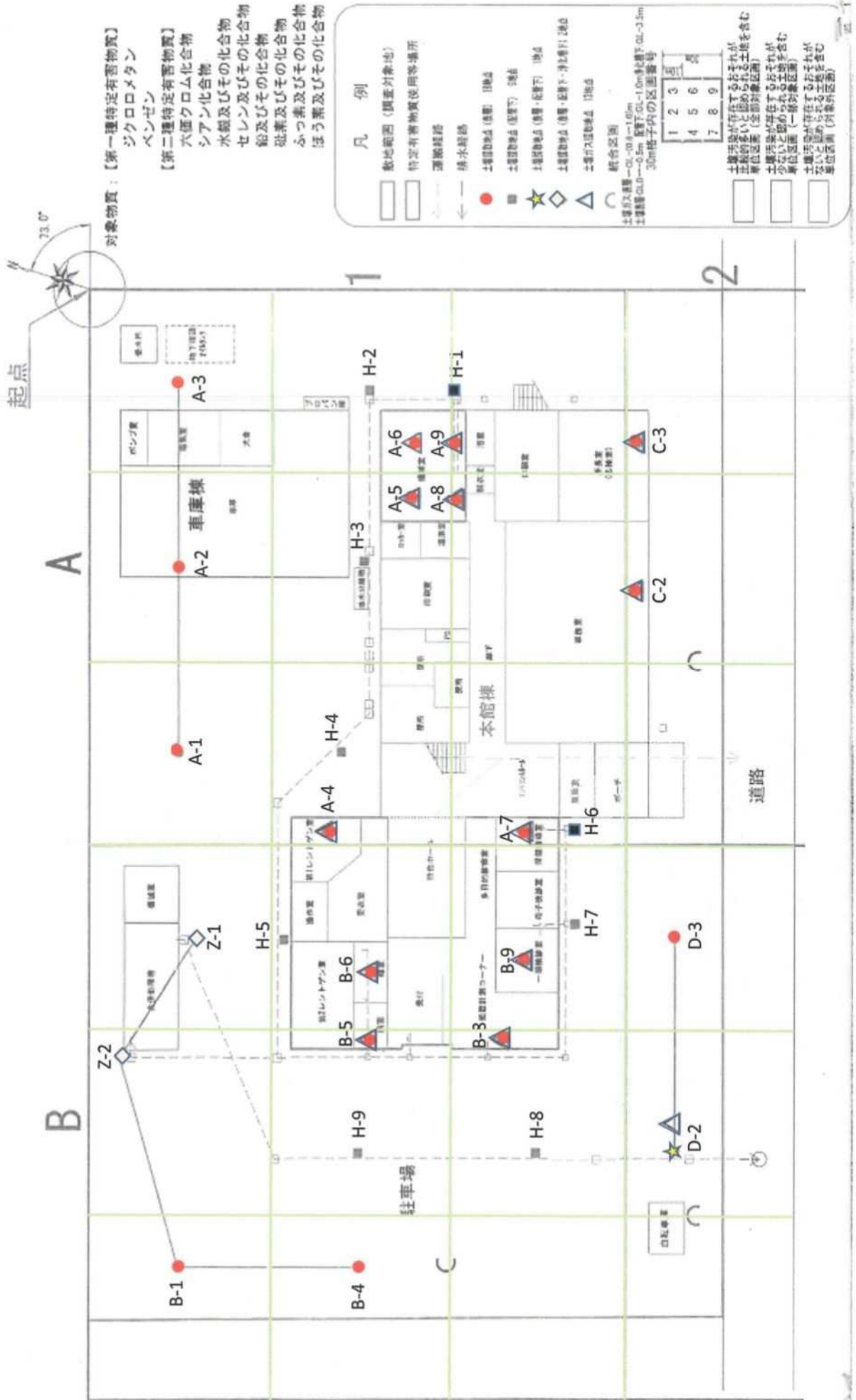
以上より、静岡県賀茂健康福祉センター 賀茂保健所 松崎保健支援室（静岡県賀茂郡松崎町江奈字前田 255 番 3）に土壌汚染のない土地と認められる。

添付資料 1

試料採取地点の平面図及び各地点の採取深度

調査地点位置図 (地表面・埋設配管下・浄化槽下)

A3=1/200



各地点の採取深さ

	採取箇所	検尺	地表
建物外	A-1表層	54cm	アスファルト (4cm)
	A-2表層	67cm	コンクリート (17cm)
	A-3表層	53cm	アスファルト (3cm)
建物内	A-4表層	88cm	コンクリート (38cm)
	A-5表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-6表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-7表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-8表層	84cm	コンクリート (34cm)
	A-9表層	83cm	コンクリート (33cm)
建物外	Z-1表層	—	アスファルト (4cm)
	Z-1配管下	—	配管深さ (90cm)
	Z-1浄化槽下	4m	アスファルト、土壌 (3.5m)
	Z-2表層	—	アスファルト (4cm)
	Z-2配管下	—	配管深さ (90cm)
	Z-2浄化槽下	4m	アスファルト、土壌 (3.5m)
	B-1表層	54cm	アスファルト (4cm)
	B-4表層	54cm	アスファルト (4cm)
建物内	B-5表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-6表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-8表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-9表層	87cm	コンクリート (37cm)
	C-2表層	85cm	コンクリート (35cm)
	C-3表層	86cm	コンクリート (36cm)
建物外	D-2表層	100cm	土壌ガスのみ
	D-2配管下	140cm	配管深さ (90cm)
	D-3表層	54cm	アスファルト (4cm)
	H-1配管下	113cm	配管深さ (63cm)
	H-2配管下	95cm	配管深さ (45cm)
	H-3配管下	110cm	配管深さ (60cm)
	H-4配管下	123cm	配管深さ (73cm)
	H-5配管下	137cm	配管深さ (87cm)
	H-6配管下	142cm	配管深さ (92cm)
	H-7配管下	144cm	配管深さ (94cm)
	H-8配管下	140cm	配管深さ (90cm)
	H-9配管下	115cm	配管深さ (65cm)

添付資料 2
土壌ガス採取記録

土壌ガス調査試料採取記録簿

件名：令和4年度静岡県健康福祉センター松崎保健支援室土壌汚染状況調査（試料採取調査）業務委託 記録者：鳥谷可奈子

地点名	試料採取日	天候	採取孔設置時刻	試料採取時刻	試料の採取方法	表層の状況	採孔深度 (GL-cm)	地下水の有無	写真撮影チェック	試料チェック
A-4	2月1日	晴れ	11:55	13:30	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
A-5	2月1日	晴れ	14:35	15:05	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
A-6	2月1日	晴れ	14:55	15:30	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
A-7	2月1日	晴れ	10:55	11:25	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
A-8	2月1日	晴れ	14:25	15:00	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
A-9	2月1日	晴れ	15:10	15:40	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
B-5	2月1日	晴れ	11:30	13:05	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
B-6	2月1日	晴れ	11:35	13:15	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
B-8	2月1日	晴れ	9:30	10:00	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
B-9	2月1日	晴れ	9:45	10:20	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
C-2	2月1日	晴れ	13:25	14:30	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
C-3	2月1日	晴れ	13:35	14:40	捕集バック法	コンクリート	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
D-2	2月2日	曇り	14:48	15:23	捕集バック法	アスファルト	1m	無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

添付資料 3

土壌ガス回収率確認表

土壌ガス調査の運搬及び保管による濃度の減少の程度を評価した表

分析項目	標準液50ppmを5ul添加時の濃度(volppm)	テスト用試料濃度(volppm)	回収率(%)	補正を行った項目
ジクロロメタン	0.065	0.054	82	-
		0.052		
ベンゼン	0.071	0.057	84	-
		0.062		

テスト用試料の既知の濃度と分析結果の平均との差が±20%未満の場合には、土壌ガスの分析結果をそのまま土壌ガス中の試料採取等対象物質の濃度とする。テスト用試料の既知の濃度と分析結果の平均との差が±20%以上の場合には、次式により求めた濃度を土壌ガス中の試料採取等対象物質の濃度とする。

$$\text{濃度} = \text{土壌ガスの分析結果} \times \frac{\text{テスト用試料の既知の濃度}}{\text{テスト用試料の分析結果の平均}}$$

添付資料 4
分析結果一覽表

(様式第7号)

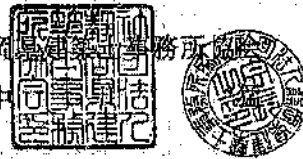
第52-951017号

平成7年12月19日

耐 震 判 定 書

静岡県 石川嘉延様
知事

社団法人静岡県建築士事務所
会長 中



診断対象建築物について本会耐震判定会において、その耐震性を判定した結果は下記のとおりです。

記

1・耐震診断対象建築物

件名	下田保健所松崎支所 本館	耐震診断業務
所在	賀茂群松崎町江奈255-3	
構造規模	鉄筋コンクリート造 2階建 延	786.65m ²

2・耐 震 判 定

耐震性能は非常によいが、大地震に対して部分的に軽微な被害もありうる。(極せい性部材が破壊する可能性がある。)

なお、詳細については別添報告書を参照されたい。

耐震診断結果報告書

R.C造 2次診断

施設名 下田保健所松崎支所 本館

所有(管理)者 静岡県 県

報告年月日 平成 7 年 12 月 日



報告者

担当 者
 静岡県建設部 487
 二級建築士事務所 富士企画

目次

1. 一般事項	頁	
1-1 耐震診断対象建築物概要	1	3. 出力 (正本のみ)
1-2 配置図	3	3-1 既存1次・2次の電算出力
1-3 地盤種別地図	4	
2. 既存建築物の耐震診断		
2-1 診断結果の概要と建築物の性質	5	
2-2 診断の所見	7	
2-3 1次・2次診断の結果	8	
2-4 伏図	11	
2-5 軸組図	13	
2-6 軸力表	17	
2-7 柱、壁、雑置リスト	19	
2-8 その他	24	

1. 耐震診断対象建物概要

1.1 名称等

建築物名称 上野信達所 移設支所
 所在地 東京都墨田区江島 堀内
 用途 信達所

設計者名称 (株)井式小口建設事務所
 住所 東京都中央区銀座 1-1-5-4
 設計年月日 昭和 54 年 6 月 22 日 or 年度

1.2 建物規模等

施工者名称 河理建設株式会社
 住所 静岡県伊豆市中 411-1
 施工年月日 昭和 55 年 3 月 27 日 or 年度

1.3 設計図書等の保存

階	1	2	3	4	5	6	計
面積(m ²)	507.85	285.0					786.65
重量(t)	1.20	1.20					1.20

地下室 有 無 ペントハウス 有 無

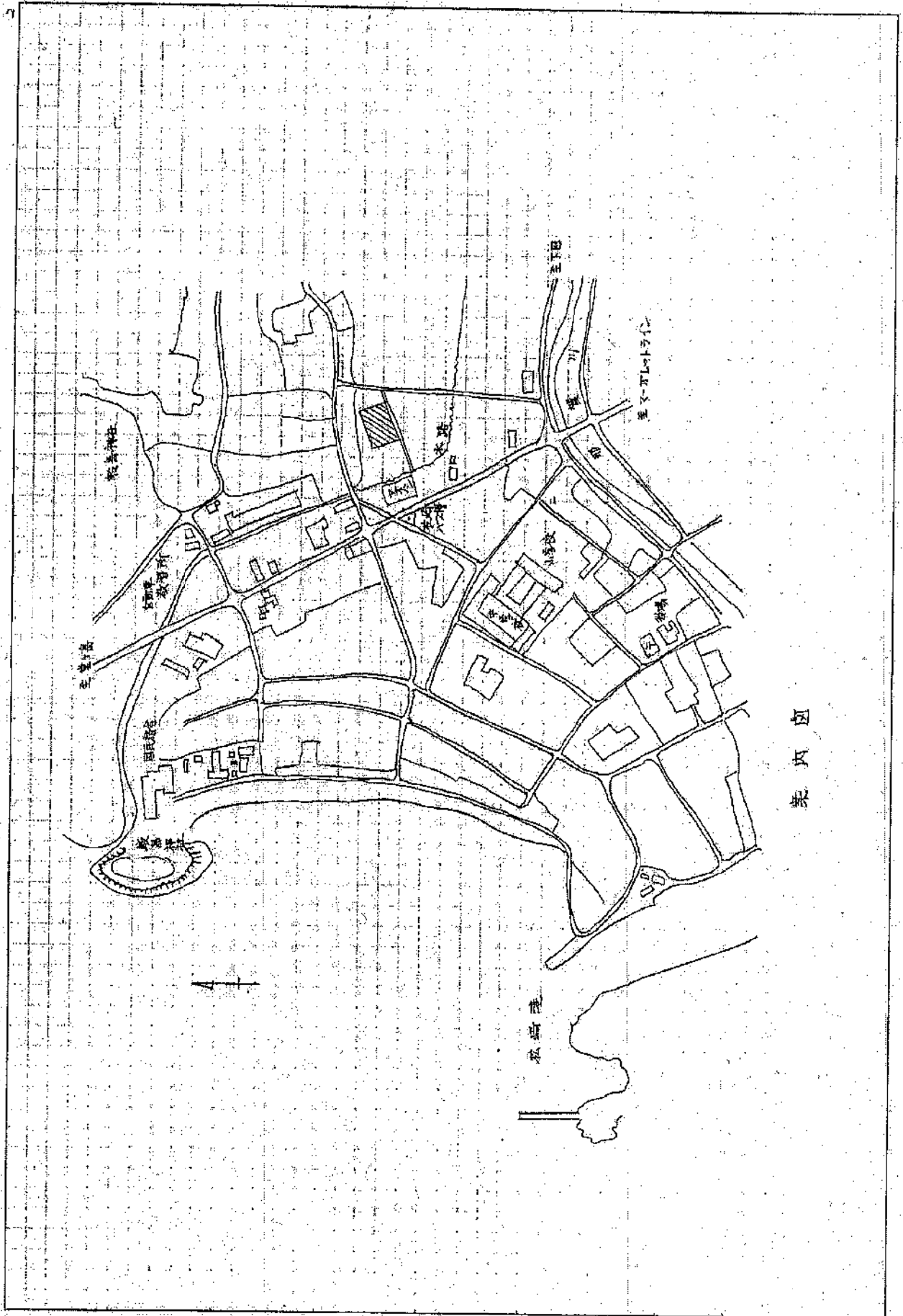
意匠図 無
 構造図 無
 構造計算書 有
 地質調査資料 有

1.4 構造部材強度 (設計強度によらない場合は添削のこと)

コンクリート Fc 21.0 kg/cm²
 鉄筋 柱主筋 SD295 帯筋 SD295 壁筋 SD295
 鉄骨
 杭耐力 種類 AC 径 450 杭長さ 38.0 m 耐力 40 t/本
 その他

1.5 耐震診断の方針

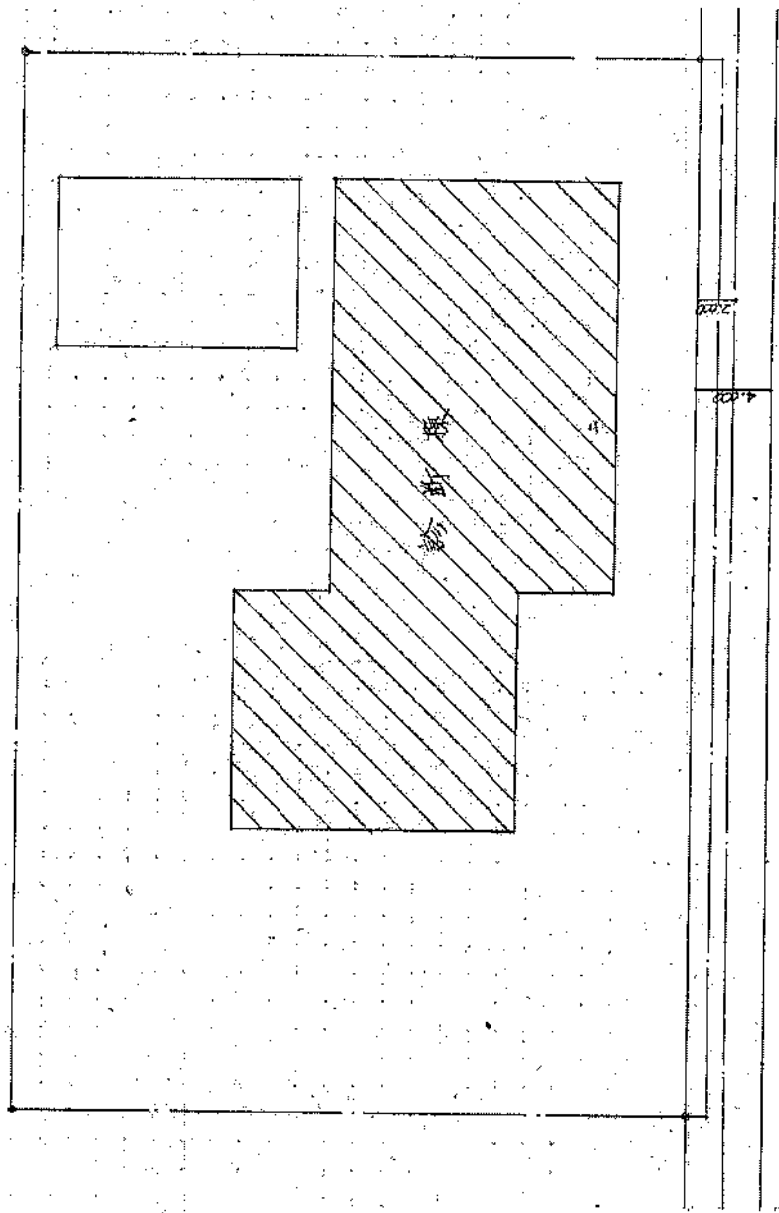
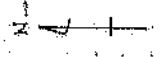
- ① 本診断は財団法人日本防災協会監修 JCR-BEN 1.2.3. (ニュー・エフ7研究発行) の章第 7.0.1.1. ラムを用いて行う。
- ② 診断次数は 1.2.2. 次とする。
- ③ 結果に基づいては 震度耐震指標値 (I₀) と耐診断指標値 (E_T) とを比較検討し判断する。また 異種強度係数 (C_T) と形状係数 (S_D) との種についても検討する。
- ④ 建物重量は F₁ にては 1.20 t/m² とする。
- ⑤ 建物規模の耐震診断は 施設名種の数値を記載し耐震診断に於ては 設計図書及び在籍のバリエーションの耐震の 1/2 を加えて耐震とする。



菜内図

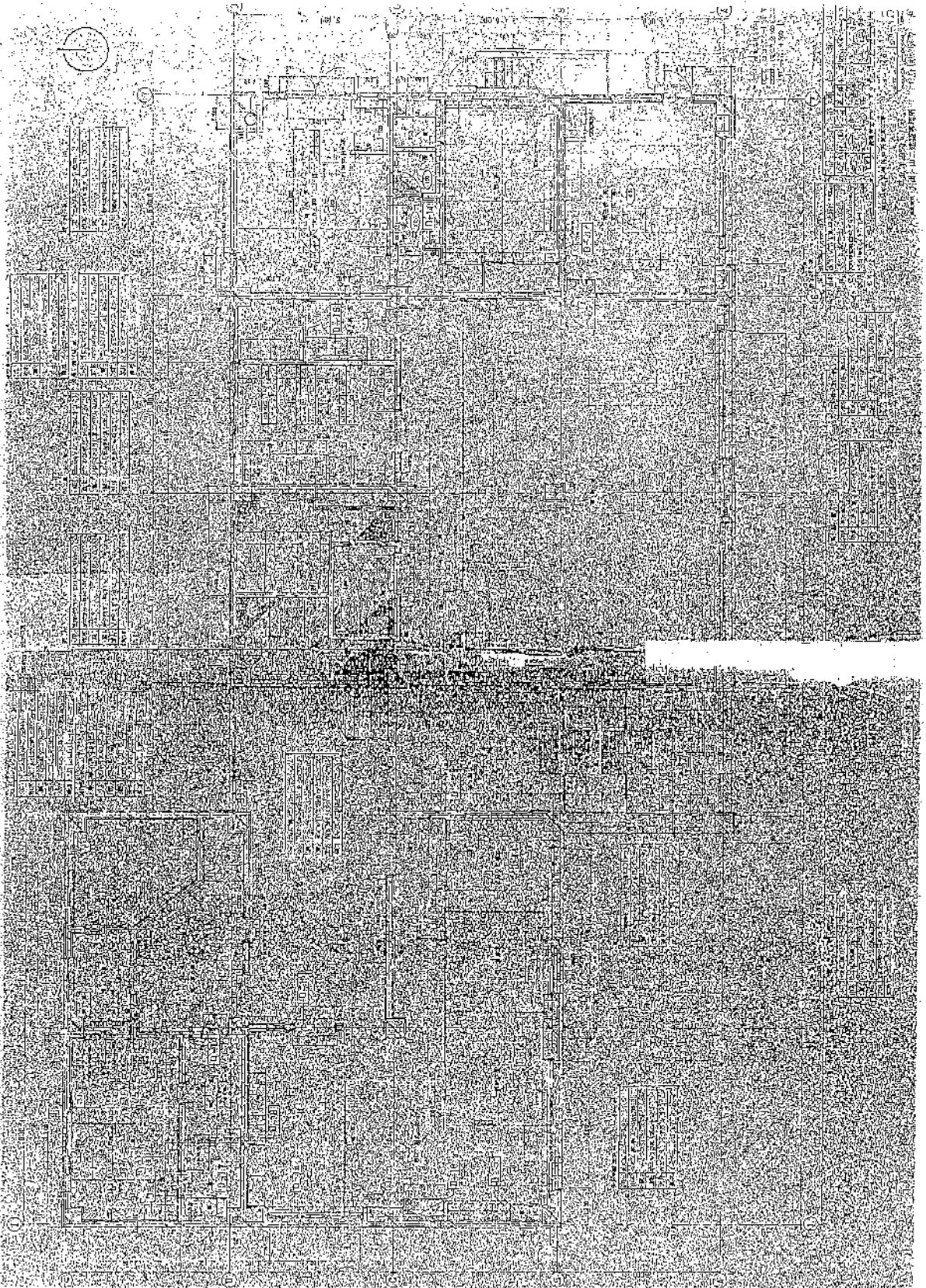
2. 比例尺 1:300

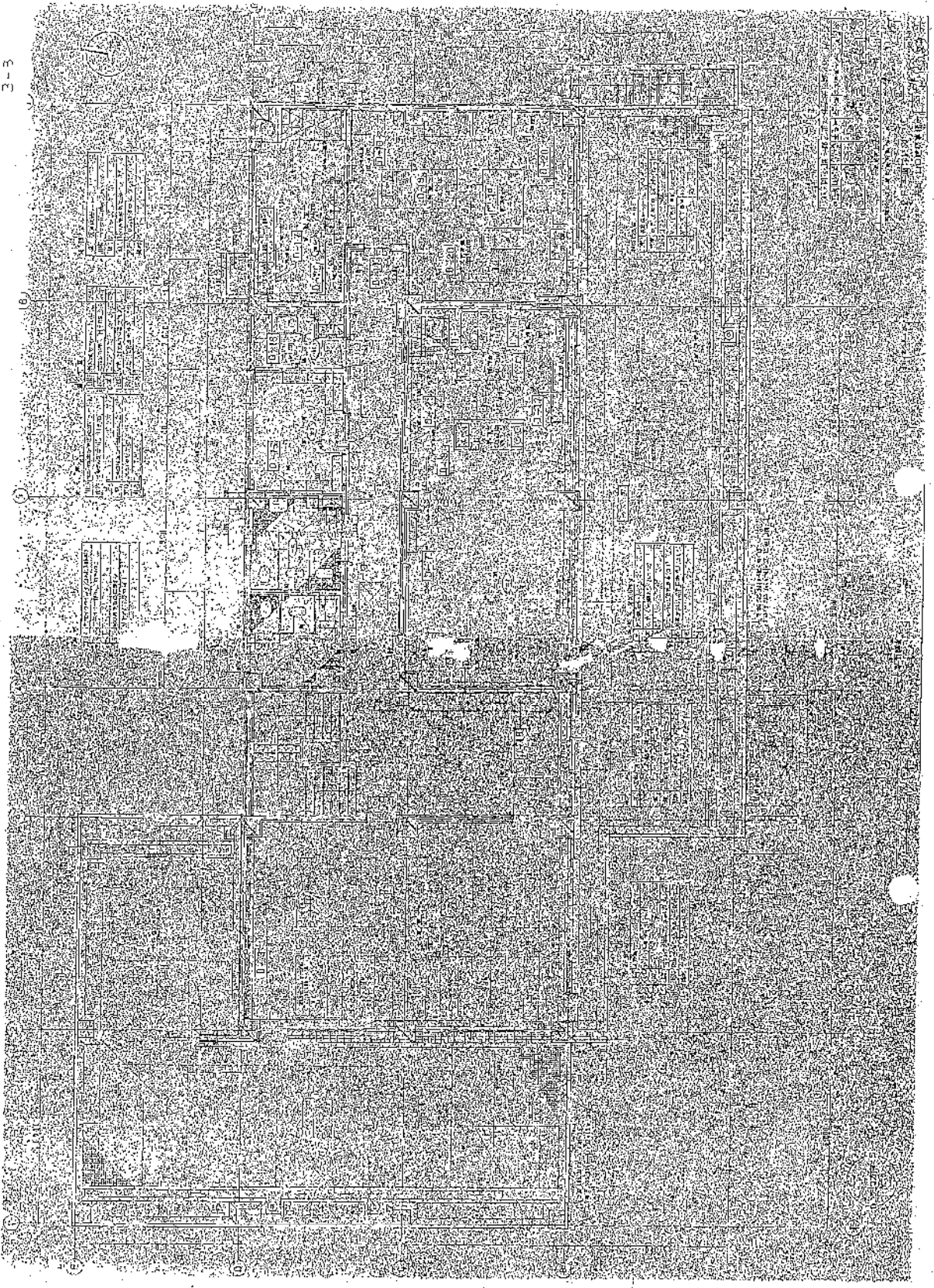
1/2



釘座 比例尺 1:300

3-2





3-3

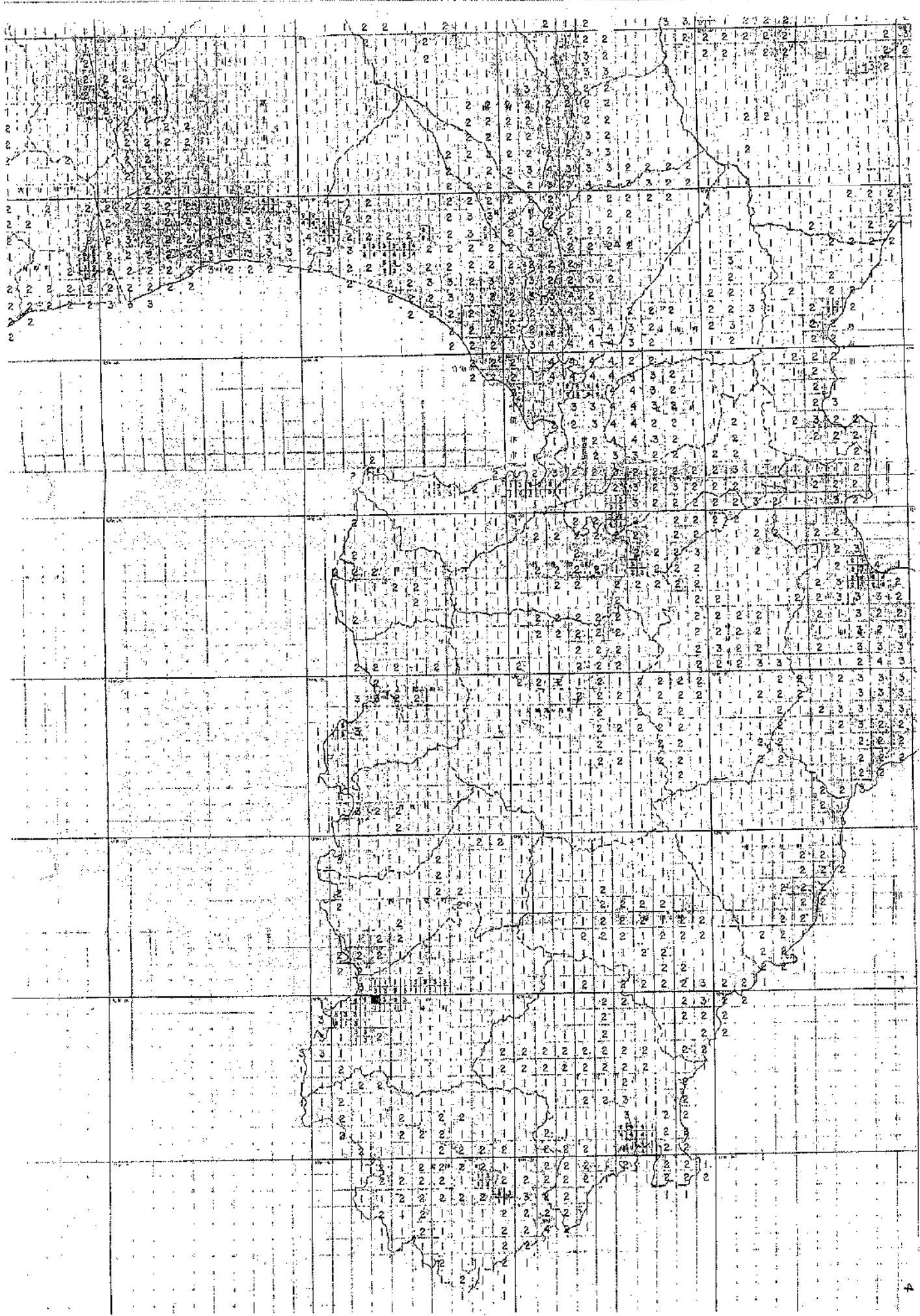
(b)

(c)

(d)

(e)

(f)

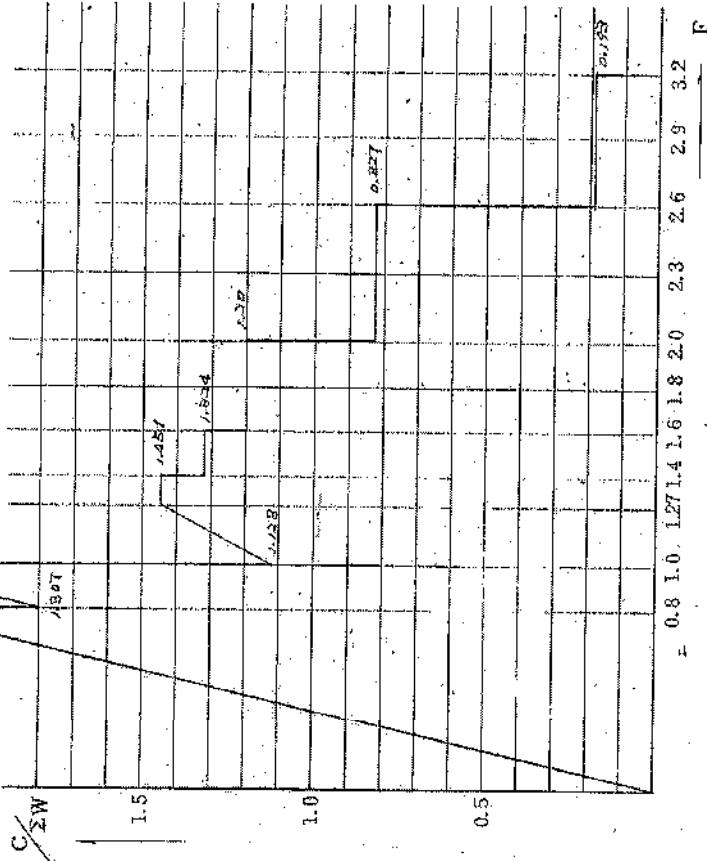


2. 既存建物の耐震診断

2-1 診断結果の概要と建物の性質
診断結果の概要

項目	概要			
	Is	Is/E _s	z	階 X 方向
Is	1.56 (0.07)	1.53 (0.58)	1.0	1.25
Et	1.25	1.00	1.0	1.25
SDR について	剛重比の7-1-1トが0.90以下、 整形性の7-1-1トが0.80である			
TC について	振盪差は、変形は適い。			
種せい性 部材に ついて	在せい性部材は3ヶ所存在するが、いそれもち種構造 要素ではない。			
地 域	A 地 域	地盤種別	第 3 種	種地盤
その他 特記事項				

建築物の性質



ΣW = 242.0T (..... 階IT柱 壁 - 柱人流柱)

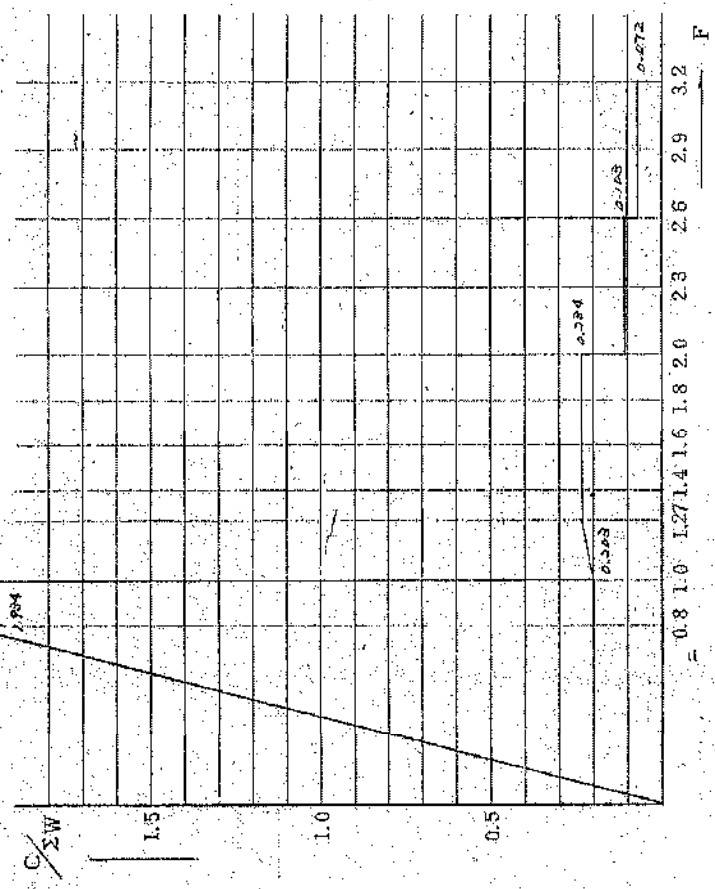
F	0.8	1.0	1.27	1.4	1.6	1.8
C	191.7	0.491.50		43.28	42.53	
C/ΣW	0.841	1.688		0.127	0.254	
F	2.0	2.3	2.6	2.9	3.2	
C	127.70		216.90		26.04	
C/ΣW	0.528		0.894		0.193	

	1F	2F	3F	4F	5F	6F
偏心率	0.046	0.049				
剛重比	0.741	0.962				
柱 率	127.0	127.4				
壁 率	132.5	149.3				

診断結果の概要

項目	概 要			
	Is	Is/E	1 階	Y 方向
Et	1.25	Es	1.00	C1
SDに ついて	整形性の7L-Fは0.80Tある			
Tに ついて	構造はOK、変形は悪い			
継ぎい性 部材に ついて	継ぎい性部材はOKと存在するが、ハブはOKと確認 要素は悪い			
地 域	A 地域	地盤種別	第 3 種地盤	
そ の 他 特記事項				

建築物の性質



$\Sigma W = 977.9^T$ (… 西の性 …… 壁 - せん断性)

F	0.8	1.0	1.27	1.4	1.6	1.8
C	343.10	250.04				
C/ΣW	0.354	0.258				
F	2.0	2.3	2.6	2.9	3.2	
C	0.128.18		0.084		0.7116	
C/ΣW	0.131		0.084		0.072	

	1 F	2 F	3 F	4 F	5 F	6 F
偏心率	0.030	0.097				
剛重比	0.874	1.713				
柱 率	22.27	42.46				
壁 率	121.6	238.9				

2-2 診断の所見

1. 現地調査と設計図書の見合

現地、目視調査の結果、設計図書との相違は無い。基礎量は設計図書と一致。基礎計算書も一致。基礎計算書の1/2を算出して行う。

3. 2次診断の結果、IS値の最小値は

X方向2階 IS=1.66(1.07) Y方向1階 IS=2.32(1.47)
Z方向2階 ISで決定する。又、目標値 IS=1.00 $\gamma=0.57$ である。従って IS/ES $\gamma=1.66 / (1.00 \times 0.93) = 1.78$ となる。耐震性能は標準に劣るか、又、地震に對して、部分的に破壊を受ける事もある。

4. 極心の性能について

X方向は2階に3ヶ所、Y方向1階には4ヶ所存在するが、設計の結果 (P.27-28参照) 耐震性能は満足している。位置は互に異なる。

尚、X方向、1階に3ヶ所、Y方向2階に2ヶ所存在するが、これらもその性能は満足している。

5. 総合所見

重要度係数を考慮すると、 $I_o/E_T = 1.66 / 1.25 = 1.33$ となり、予震されている。東海地震に對しては、耐震性能は、とどまると見られるが、極心の性能が破壊する可能性がある。耐震の方向については、X、Y方向の長短、極心の性能を評価する。

追記

又、階間剛性を柱は、その構造要素ではないが、耐力が耐力の7割程度であり、耐力の改修が、必要と思われる。

(C7) 診断結果表
* 第1次診断

第1次診断結果表									
建物名称 (松崎保健所)		竣工年度 (S.55)		住所 (賀茂郡秋保町)					
診断者名 (富士企画)		診断年月日 (H.7.10.7)							
建物の階数 (2)									
方向	階	C	F	TYPE	EO	SD	T	IS	
X	6								
	5								
	4								
	3								
	2	2.13 1.06	1.0 1.0	W C	2.17	0.80	1.00	1.74	
	1	2.10 0.27	1.0 1.0	W C	2.29	0.80	1.00	1.83	
Y	6								
	5								
	4								
	3								
	2	4.53 0.35	1.0 1.0	W C	3.58	0.80	1.00	2.86	
	1	0.09 2.46 0.15	0.8 1.0 1.0	SD W C	2.57 (1.52)	0.80	1.00	2.06 (1.21)	

注: SC=部材柱 W=壁 C=柱
(): 短柱を考慮した場合

第2次診断

第2次診断結果表

建物の名称 (静岡保健所) 竣工年度 (S.55) 住所 (須茂郡松崎町)

診断者名 (富士企画) 診断年月日 (H.7.10.7)

建物の階数 (2) 診断方向 (X & Y)

構造耐震判定指標 $I_{so} = S_s \times Z \times G \times U =$

方向	階	C	F	BO	SD	T	IS	CI x SD	判定
X	6								
	5								
Y	4								
	3								
Z	2	0.56 1.99 0.83	0.80 1.00 2.60	2.20 (1.42)	0.81	0.93	1.66 (1.07)	1.56	
	1	0.65 2.07	0.80 1.00	2.07 (1.68) [2.07]	0.90	0.93	1.74 (1.21) [1.74]	1.86	

() : 座落柱部は考慮した場合の指標値
[] : せん断降伏性を考慮した場合の指標値 (5) 式にて算定

第2次診断

第2次診断結果表

建物の名称 (松崎保健所)		竣工年度 (S.55)	住所 (賀茂郡松崎町)						
診断者名 (富士企画)		診断年月日 (R.7.10.7)							
建物の階数 (2)		診断方向 (X & Y)							
構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \times Z \times G \times U =$									
方向	階	C	F	SO	SD	T	IS	CT x SD	判定
Y	6								
	5								
	4								
	3								
	2	0.85 4.25	0.80 1.00	3.20 (2.01)	0.90	0.93	2.69 (1.68)	2.88	
	1	0.25 2.75	0.80 1.00	2.75 (1.75) [2.76]	0.90	0.93	2.32 (1.47) [2.32]	2.49	
() : 軽微な損傷を考慮した場合の指標値 [] : せん断降伏性を考慮した場合の指標値 (5) 式にて算定									

***** アログラム SCREEN 1, 2 は正常に終了しました *****

繪圖 比例 1:200
 測量 2007.12.12
 設計 2008.1.15

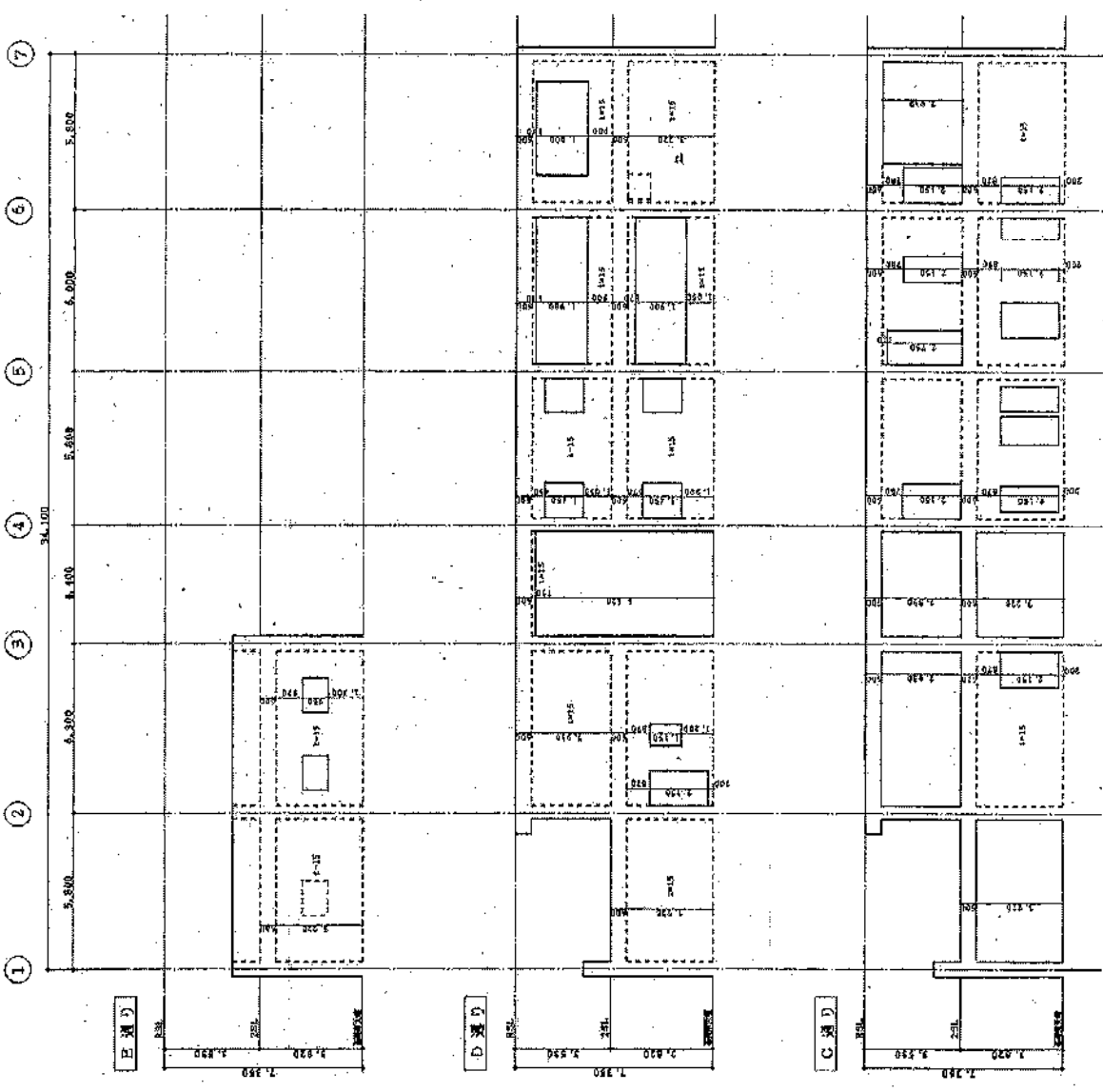
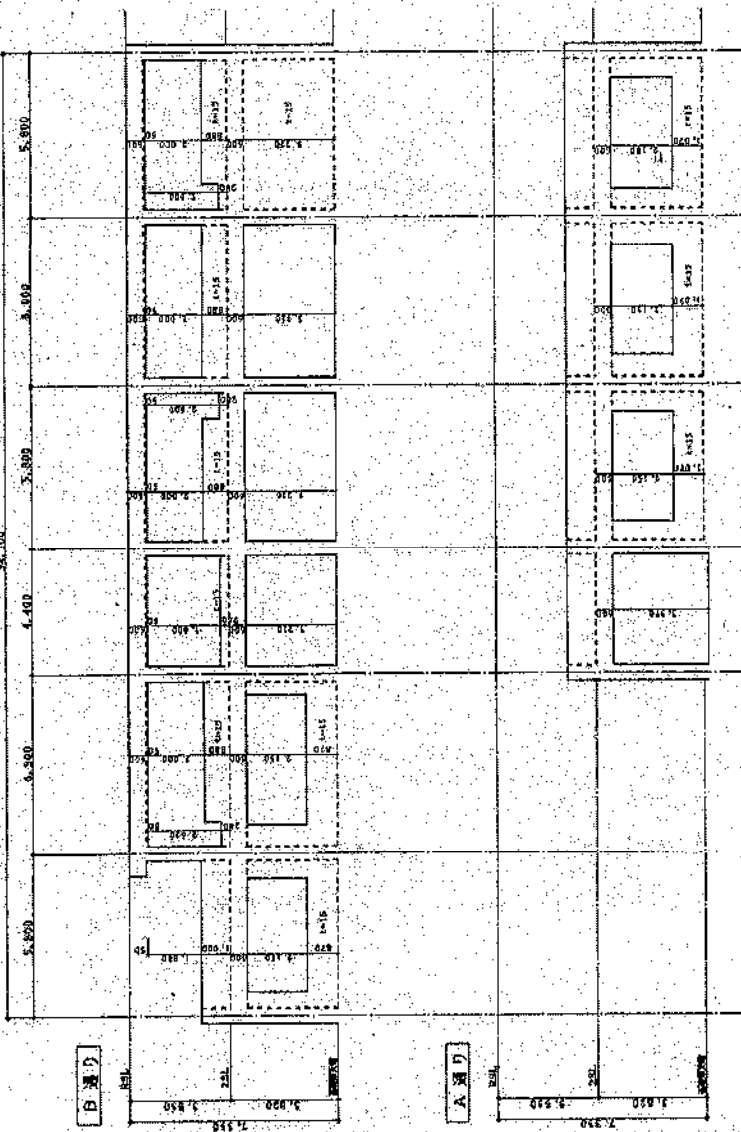


圖 1:200

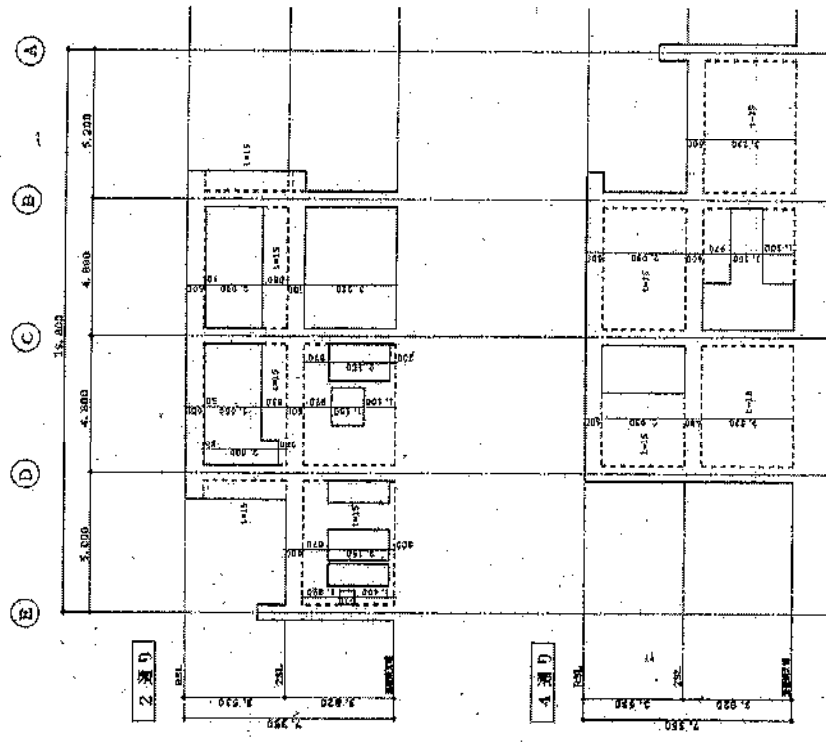
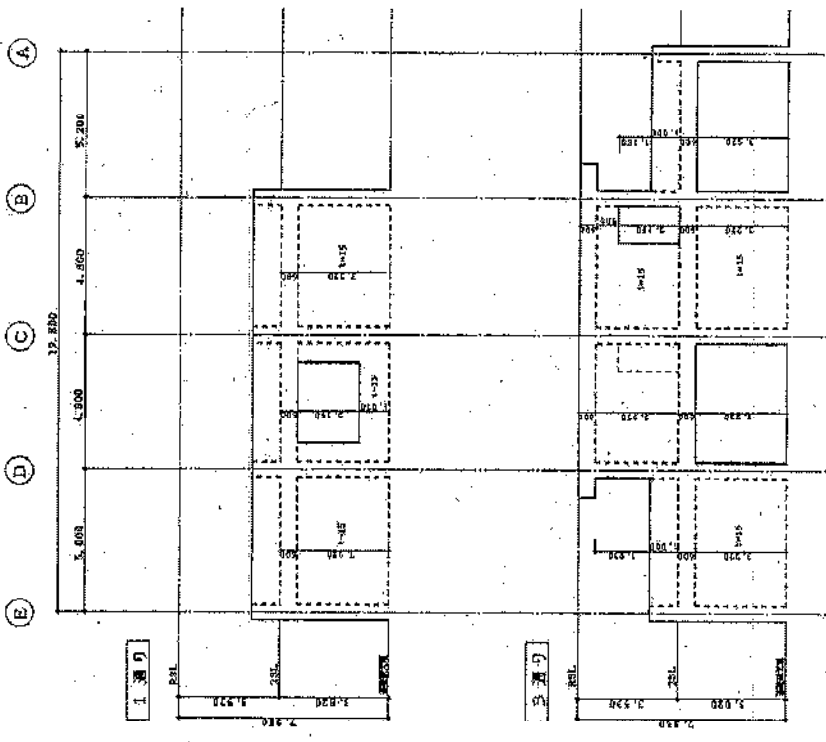
PROJ: 2020-10-12

DATE: 2020-10-12

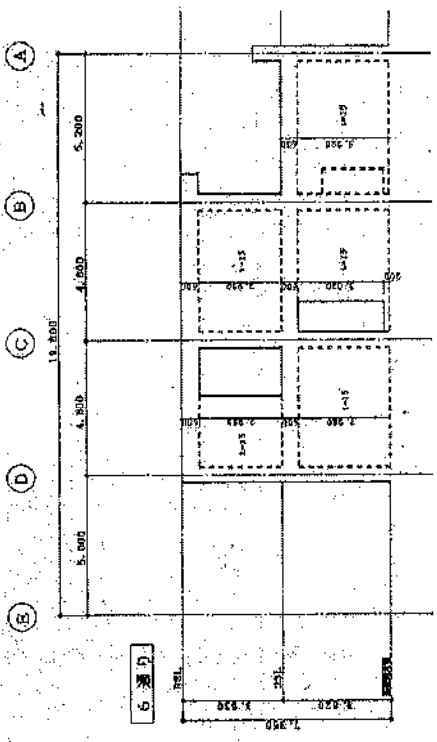
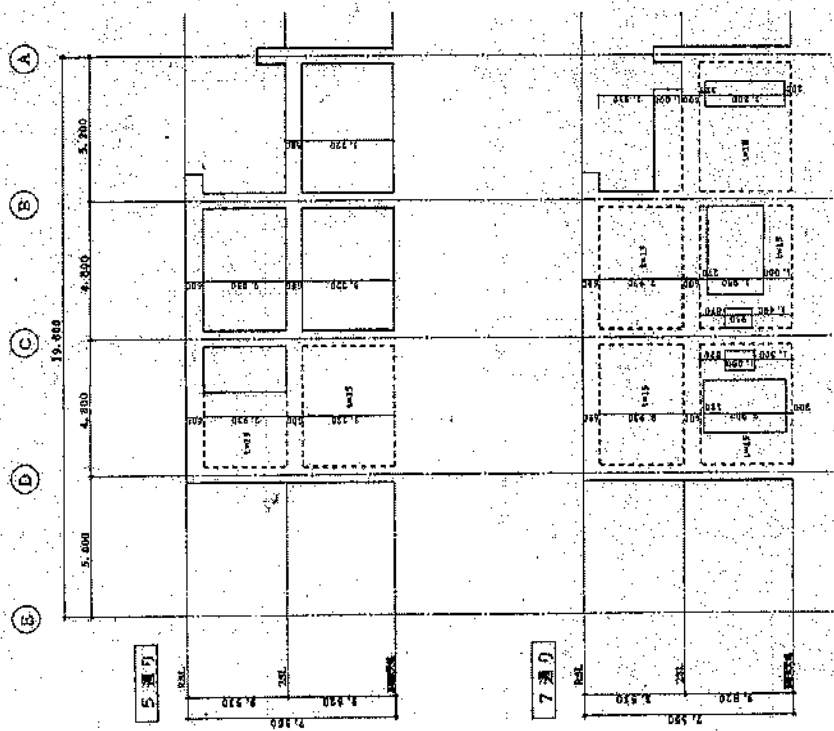
1 2 3 4 5 6 7

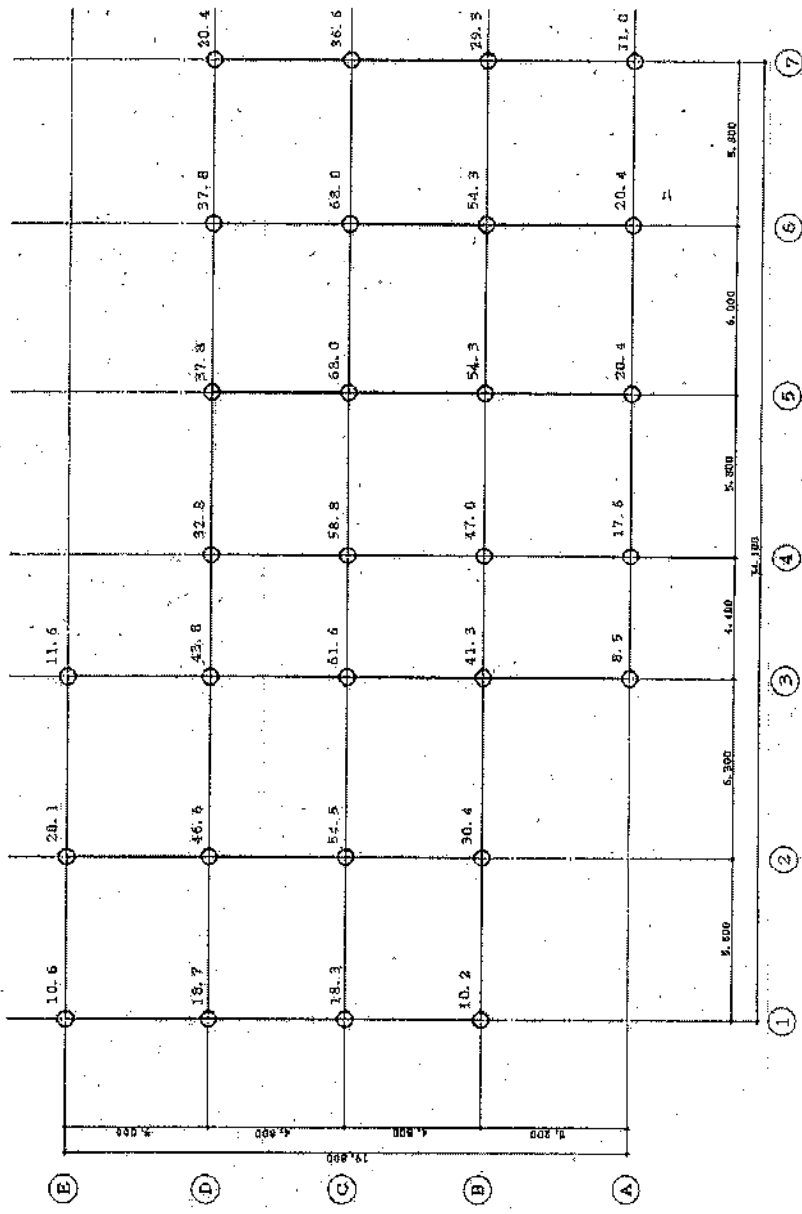


船型図 船長 12500
 船幅 22.700
 船高 10.000



編 号 図 号 SL 31200
 1987.07.27-1987.12.14
 1987.07.27-1987.12.14

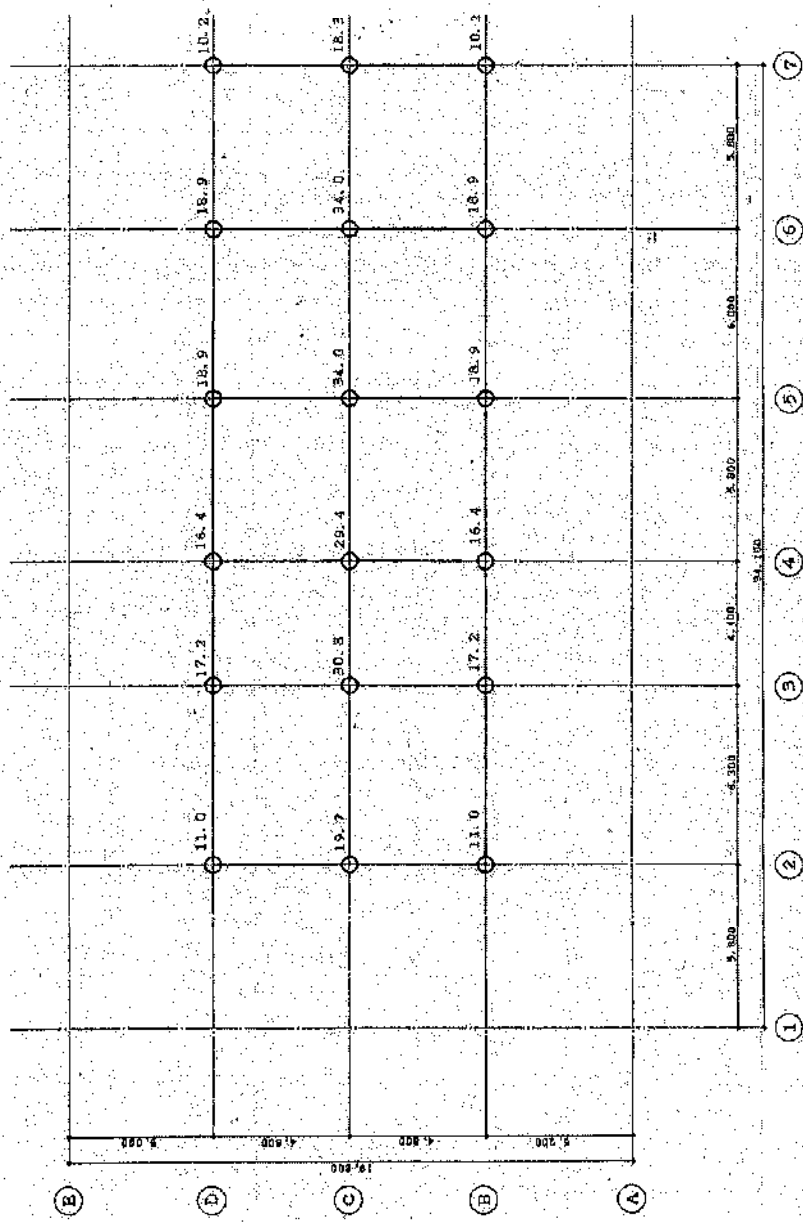




		1 階	2 階
重心	X	18.09	19.95
	Y	10.31	9.80
階重量		839.3	331.4
建物重量		990.7	551.4
床面積		529.92	285.0
単位重量		1.2	1.2

※ ハネ出し部は、その1/2を床面積に算入

1 階軸力表 SL: 1:200



2階耐力表 SL-T1300

壁リスト No. 1

使用鉄筋 SR234 (SD235) SD345	型番号	壁長さ (cm)	壁厚さ (cm)	かぶり厚さ (cm)	端部補強筋		縦筋			横筋			開口比	開口比算定
					本数	径	本数	径	本数	径	本数	径		
	1	5,800	1.5	5	0	1.0	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0.124	$\beta = \frac{2.3 \times 95}{5.8 \times 3.83} = 0.24$
	2	3.5	1.5	5	2	1.3	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	3	1.45	1.5	5	2	1.3	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	4	5,800	1.5	5	0	1.0	1	1.0	1	1.50	1	1.0	0	
	5	5,900	1.2	5	1	1.3	1	1.0	1	2.00	1	1.0	0	
	6	5,800	1.5	5	0	1.0	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0.30	$\beta = \frac{2.3 \times 95}{5.8 \times 3.83} = 0.20$
	7	4,72	1.5	5	1	1.3	1	1.0	1	1.50	1	1.0	0	
	8	5.5	1.2	5	1	1.3	1	1.0	1	2.00	1	1.0	0	
	9	1.25	1.2	5	1	1.3	1	1.0	1	2.00	1	1.0	0	
	10	4,370	1.5	5	1	1.3	1	1.0	1	1.50	1	1.0	0	
	11	9.5	1.5	5	2	1.3	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	12	1.05	1.5	5	2	1.3	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	13	7.5	1.5	5	2	1.3	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	14	6,20	1.5	5	0	1.0	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	15	1.300	1.5	5	2	1.3	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	16	4,22	1.2	5	1	1.3	1	1.0	1	2.00	1	1.0	0	
	17	1,750	1.2	5	1	1.3	1	1.0	1	2.00	1	1.0	0	
	18	4,800	1.5	5	0	1.0	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	19	5,000	1.5	5	0	1.0	2	1.0	2	2.00	2	1.0	0	
	20	1,550	1.2	5	1	1.3	1	1.0	1	2.00	1	1.0	0	

(a)

(b)

(c)

(d)

(e)

(f)

(g)

(h)

(i)

(j)

(k)

(l)

(m)

壁リスト No.2

壁番号	壁長さ (cm)	壁厚さ (cm)	かぶり厚さ (cm)	端部補強筋		縦筋		横筋		開口比	開口比算定
				本数	径	本数	径	本数	径		
1,1	4,800	1,5	5	0	10	1	10	1	1,0	0	
1,2	5,200	1,5	5	0	10	1	10	1	1,0	0	
1,3	4,800	1,8	5	0	10	2	10	2	1,0	0	
1,4	5,200	1,5	5	0	10	1	10	1	1,0	0	
1,5	3,570	1,5	5	1	13	1	10	1	1,0	0	
1,6	3,250	1,8	5	2	13	2	10	2	1,0	0	
1,7	1,510	1,5	5	2	13	2	10	2	1,0	0	
1,8	1,250	1,5	5	2	13	2	10	2	1,0	0	
1,9	3,220	1,5	5	1	13	1	10	1	1,0	0	
2,0	4,800	1,2	5	0	0	1	10	1	1,0	0	$\beta = \frac{1,95 \times 2,15}{1,48 \times 2,82} = 0,25$
2,1	3,840	1,5	5	1	13	1	10	1	1,0	0	
2,2	1,000	1,8	5	2	13	2	10	2	1,0	0	
2,3											
2,4											
2,5											
2,6											
2,7											
2,8											
2,9											
2,10											
2,11											
2,12											
2,13											
2,14											
2,15											
2,16											
2,17											
2,18											
2,19											
2,20											
2,21											
2,22											
2,23											
2,24											
2,25											
2,26											
2,27											
2,28											
2,29											
2,30											
2,31											
2,32											
2,33											
2,34											
2,35											
2,36											
2,37											
2,38											
2,39											
2,40											
2,41											
2,42											
2,43											
2,44											
2,45											
2,46											
2,47											
2,48											
2,49											
2,50											
2,51											
2,52											
2,53											
2,54											
2,55											
2,56											
2,57											
2,58											
2,59											
2,60											
2,61											
2,62											
2,63											
2,64											
2,65											
2,66											
2,67											
2,68											
2,69											
2,70											
2,71											
2,72											
2,73											
2,74											
2,75											
2,76											
2,77											
2,78											
2,79											
2,80											
2,81											
2,82											
2,83											
2,84											
2,85											
2,86											
2,87											
2,88											
2,89											
2,90											
2,91											
2,92											
2,93											
2,94											
2,95											
2,96											
2,97											
2,98											
2,99											
2,100											

(a)

(b)

(c)

(d)

(e)

(f)

(g)

(h)

(i)



(j)

縦壁リスト

番号	階	方向	壁厚 (cm)	補強筋 距離 (cm)	補強筋			縦筋			開口比	基準線からの距離 (m)	開口点の 反曲点の 高さの2倍 (0.0)	開口比算定	
					本数	径	本数	径	径						
1	1	X	120	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	1.80	0	3.82
2	1	X	120	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	1.80	0	3.82
3	1	X	200	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	3.30	0	3.82
4	1	X	155	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	3.30	0	3.82
5	1	X	210	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	3.80	0	3.82
6	1	X	260	5	13	2	10	150	2	10	150	0.0	4.80	0	1.45
7	1	X	270	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	7.80	0	3.82
8	1	X	105	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	7.00	0	3.82
9	1	X	180	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	11.80	0	3.82
10	1	X	515	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	11.20	0	3.82
11	1	X	185	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	9.80	0	2.15
12	1	X	220	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	9.80	0	2.15
13	1	Y	315	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	19.30	0	3.82
14	1	Y	480	5	13	1	10	200	1	10	200	0.0	26.50	0	3.82
15	1	X	160	5	13	2	10	200	2	10	200	0.0	0.00	0	0.85
t=															
t=															
t=															
t=															
t=															

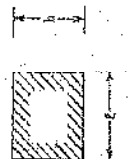
(a) (b) (c) (d) (e) (f) (g) (h) (i) (j) (k) (l) (m) (n) (o) (p) (q) (r)

表 10 項目の分類及び C, R 一覧表

項目	G1 (グレード)		R (レンジ調整係数)		適用の現象	備考
	1-0	0-9	R1	R2		
1 次 断面形状 (1-2)	a 形状性	矩形	0.8	1.0	もつとも不利な面で検討し、全体に適用する。	<p>a1: $R \times Y \times 2$ 対称のもの、一つの突出部の面積が床面積の 10% 以下のもの。 突出部とは長さ L / 幅 $B \geq 1/2$ の場合を対置とする。 a2: a_1 より不利なもの、また、L, T, U 型等の平面で一つの突出部の面積が床面積の 30% 以下のもの。 a3: a_2 より不利なもの。 b: L = 長辺 / 短辺, L, T, U 型等の場合は、長辺長として L を用いる。 c: $c = D_1 / D_2$  d: エキスパンジョイントのある場合に適用する。od = EXP.J の幅 / EXP.J の高さ e: $e =$ 吹抜前面積 / (吹抜部面積を含む) 床面積。ただし、鉄筋コンクリート壁により囲まれている階段は吹抜部とみなさない。 f: $f_1 =$ (壁面中心 (圆心) と吹抜部中心間の距離) / 壁物の短辺長さ $f_2 =$ () / 壁物の長辺長さ h: $h =$ 地下断面積 / 埋戻面積 i: $i =$ 上層の高さ / 検討する層の高さ。検討する層が最上層の場合は式で、上層を下層と見なされる。 j: 床面がピロティのみにより支持されており、かつ、そのピロティの平面的配座が偏っている場合を偏りとして扱う。ただし、全縁が純ラーメンの場合はピロティとして取扱わない。 $L = E / \sqrt{R \times I} = \frac{E \times I}{G \times L}$  n: $n =$ [上層の (剛/重) 比 / 該当層の (剛/重) 比] $\times \beta$。最上層が該当層の場合は式で、上層を下層と見なされる。 (剛/重) 比 = (層の剛性) / (その層より上の埋物全重量) とし、埋物の剛性は $(\Sigma(\text{柱断面積}) + \Sigma(\text{壁断面積}) \times \alpha) /$ 層高をもってする。 $\beta = (N-1) / N$。ただし N は支える床の数とし、最上層の場合は $\beta = 2.0$ とする。</p>
	b 辺長比	圧入形状 $4 \leq 8$	0.8	0.5		
	c 凸凹	$5 \leq b \leq 8$	0.5	0.25		
	d エキスパンジョイント	$0.5 \leq e \leq 0.8$	0.5	0.25		
	e 吹抜	$\frac{1}{200} \leq d < \frac{1}{100}$	0.5	0.25		
	f 吹抜の偏り	$0.1 \leq f_1 \leq 0.3$ $0.4 < f_1 \leq 0.6$ $0.1 < f_2 \leq 0.3$ $0.3 < f_2 \leq 0.6$	0.5	0.25		
2 次 断面形状 (2)	その他特殊形状	$1.0 \leq h$	0.5	0.25	各層で方向別に検討する。	<p>*1 エキスパンジョイントがある場合は各区分を一単位として検討を行う。 *2 頭等な特殊形状 (平面) がある場合に用いる。(解説参照) *3 (断面)</p>
	地下室の有無	$0.5 \leq h < 1.0$ ($h \leq 0.5$)	1.0	1.0		
	層高の均等性	$0.7 \leq i < 0.8$	0.5	0.25		
	ピロティの有無	全てピロティ	0.5	0.25		
	その他特殊形状	$0.1 < L \leq 0.15$	0.5	0.25		
	偏心・圆心の偏り率	$1.2 < n \leq 1.7$ 又は $0.6 \leq n < 0.8$	1.0	1.0		

*4 壁の長さ-高さのプロポーショナルにより下張の α を表す。

壁のプロポーショナル h/L	α	
	ラーメン内の壁	ラーメン外の壁
$3.0 \leq h/L$	1.0	0.3
$2.0 \leq h/L < 3.0$	1.5	0.5
$1.0 \leq h/L < 2.0$	2.5	0.8
$h/L < 1.0$	3.5	1.2



経年指標

1 次診断用 (該当個所に○印をつける)

表II 1次調査による経年指標Tの算定表

(A) チェック項目	(B) 経 歴	(C) T 値 (該当箇所を○印)	(D) 2次調査の 関連項目
変 形	基礎が腐朽している。または明らかに不均衡沈下を起している。 地盤が堅固地かまたは水田跡である。 内圍ではり、柱の変形が認められる。 上記に該当せず。	0.7 0.9 0.9 1.0	構造きれつ・変形
壁・柱のきれつ	雨もりがあり、拭き跡が出ている。 内圍で柱に斜めきれつがはつきりみえる。 外圍に壁とされなれどきれつが入っている。 雨もりはあるが、さびは出していない。 上記に該当せず。	0.8 0.9 0.9 1.0	構造きれつ・変形
火 害 経 験	痕跡あり。 受けたことがあるが断断自立した。 なし	0.7 0.8 1.0	構造きれつ・変形 変質・老朽化
用 途	化学薬品を使用していたが現在使用中。 上記に該当せず。	0.8 1.0	変質・老朽化
建 物 年 数	30年以上 20年 20年未満	0.8 0.9 1.0	変質・老朽化
仕 上 状 態	外圍の老朽化による剥離が著しい。 内圍の変質、剥離が著しい。 新に問題なし。	0.9 0.9 1.0	変質・老朽化

2次診断用(該当個所に○印をつける)

表12 2次調査の減点集計表(階): 第2次診断(注)該当する個所の減点を○印した後、集計する。

項目	構造されつゝ変形			堅質・老朽化		
	a	b	c	a'	b'	c'
1 床 (小はりを含む)	1 床板下に間接する されつゝ	1. 2次部材に支障をきたし たはりの変形	1. a, bには該当しな い。cは該当しな い。c'は該当しな い。	1. 鉄筋及びコン クリートの配筋され つゝ	1. 雨水・地下水による鉄 筋の腐食によるコンクリ ートの剥離し、ひび 割れ、または、しみ 漏れ、または、老朽化。 2. 土上材料の腐食による 剥離、または、老朽化。	1. 雨水・地下水、化学薬 品等によるコンクリ ートの剥離し、ひび 割れ、または、しみ 漏れ、または、老朽化。 2. 土上材料の腐食による 剥離、または、老朽化。
	2 床板の厚さが 不足している	2. 腐食による鉄筋の 断面積の減少	2. a, bには該当しな い。c'には該当しな い。	2. 鉄筋の腐食 によるコンクリ ートの剥離、ひび 割れ、または、しみ 漏れ、または、老朽化。 3. 化学薬品等によるコ ンクリートの変質。	2. 0.002	2. 0
	3 床板の配筋が 不足している	3. 鉄筋の配筋が 不足している	3. c'には該当しな い。	3. 0.002	3. 0.001	3. 0
2 大はり	1 大はりに支障をきたし た	1. 大はりに支障をきたし た	1. 0.004	1. 0.050	1. 0.015	1. 0.004
	2 大はりの断面が 不足している	2. 大はりの断面が 不足している	2. 0.001	2. 0.017	2. 0.005	2. 0.001
	3 大はりの配筋が 不足している	3. 大はりの配筋が 不足している	3. 0	3. 0.006	3. 0.002	3. 0
3 柱	1 柱に支障をきたし た	1. 柱に支障をきたし た	1. 0.011	1. 0.150	1. 0.046	1. 0.011
	2 柱の断面が 不足している	2. 柱の断面が 不足している	2. 0.004	2. 0.050	2. 0.015	2. 0.004
	3 柱の配筋が 不足している	3. 柱の配筋が 不足している	3. 0.001	3. 0.017	3. 0.005	3. 0.001
減点集計額	小計	0.008	0.001	0.025	0.008	0.001
	合計	P ₁ = 0.034			P ₂ = 0.034	
	a	b	c	a'	b'	c'

DATA SHEET

No.	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80	建物名称	場所	市町村 コード	用途	設計年度	層数	ペントハウス 地下室の階数	場所のメニュー番号	X方向軸と東西 軸上の方式別座 標値
1										
2		下野橋標新花崎支所	下野橋標新花崎支所	023	14	54	55	2	523806044	I 0
3		各階重量又は各階単位床面積値								
4		1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F
		1.20	1.20							
5		偏心率								
6	X	1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		0.05	0.05							
7	X	1次診断Is値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		1.85	1.74							
8	X	2次診断Is値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		1.74	1.66							
		(1.47)	(1.07)							
9	X	1次診断E0値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		2.09	2.17							
10	X	2次診断E0値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		2.07	2.20							
		(1.88)	(1.48)							
11	X	偏心率								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		0.03	0.10							
12	Y	1次診断Is値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		2.06	2.86							
		(1.57)	(1.88)							
13	Y	2次診断Is値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		2.58	3.58							
		(1.53)	(2.07)							
14	Y	1次診断E0値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		0.58	0.58							
15	Y	2次診断E0値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		0.76	0.76							
16	Y	偏心率								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		0.03	0.10							
17	Y	1次診断Is値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		2.06	2.86							
		(1.57)	(1.88)							
18	Y	2次診断Is値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		2.58	3.58							
		(1.53)	(2.07)							
19	Y	1次診断E0値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		0.58	0.58							
20	Y	2次診断E0値								
		1F	2F	3F	4F	5F	6F			
		0.76	0.76							
		(1.53)	(2.07)							
21		(備考)								
22										
23										
24										
25										